

---

**証明写真 切り取る君** Mr. ID Photo Cutter



Model: AKM-IPC-100

**ユーザーズマニュアル**

---

Version 1.6.0.0

## 目次

ご使用になる前に.....	- 3 -
用語.....	- 4 -
はじめに.....	- 5 -
使用環境と条件.....	- 6 -
操作条件.....	- 8 -
<b>第1章 機能概要</b> .....	- 9 -
機能一覧.....	- 10 -
メインフォームの各部の名称.....	- 11 -
証明写真を作るまでの流れ.....	- 12 -
<b>第2章 ユーザーID の登録</b> .....	- 13 -
ユーザーID の登録.....	- 14 -
<b>第3章 各機能の使い方</b> .....	- 16 -
オリジナル写真を開く.....	- 17 -
画像ファイルからオリジナル写真を開く.....	- 17 -
Web カメラで撮影した画像を開く.....	- 18 -
【Web カメラ制御タイプを切り替える】.....	- 22 -
オリジナル写真を調整する.....	- 23 -
オリジナル写真を左（または右）に 90° 回転する.....	- 23 -
オリジナル写真の傾きを調整する.....	- 24 -
証明写真のサイズを決める.....	- 26 -
証明写真を切り出す.....	- 27 -
証明写真を調整する.....	- 29 -
証明写真をファイルに保存する.....	- 31 -
解像度（ピクセル数）固定機能 について.....	- 32 -
【おまけ機能】 米国査証 インターネット申請用 証明写真について.....	- 35 -
証明写真を印刷する.....	- 36 -
裏面に文字を印刷する.....	- 40 -
その他の機能.....	- 44 -
切り取り枠の色の設定.....	- 44 -
ツールチップ.....	- 44 -
アンドゥー・リドゥー.....	- 44 -
状態の保存.....	- 45 -
<b>第4章 保存しておいた証明写真を活用する</b> .....	- 46 -
ファイルに保存した証明写真で、後日同じ証明写真を作る.....	- 47 -
「証明写真 切り取る君」を使わない証明写真の印刷.....	- 49 -
<b>第5章 試用版で証明写真を作成するポイント</b> .....	- 51 -
試用版で証明写真を作成するポイント.....	- 52 -

## ご使用になる前に

### 【登録商標】

- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本および/またはその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Word は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- Adobe, Adobe ロゴ, Acrobat, および Reader は、合衆国および/またはその他の国におけるアドビ システムズ社の登録商標または商標です。
- その他、このマニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。

### 【利用している外部ライブラリについて】

「証明写真 切り取る君」の「Web カメラ制御 A」は、次の DirectShow 関連の「ライブラリを利用する著作物」です。

- DirectShowLib-2005.dll (Version 2.1.0.0) ※ 著作権 GNU LGPL v2.1

### 【利用している効果音素材について】

「証明写真 切り取る君」では、Web カメラでの撮影時のシャッター音に、商用も含めて自由に使用可能とされる効果音素材を利用させていただいております。

### 【ユーザーIDについて】

ユーザーID は、大切な情報です。  
くれぐれも流出などなさらぬよう、取り扱いには十分注意してください。  
なお、ユーザーID を転売することは禁止しています。なにとぞご了承ください。

### ご注意

- ・このマニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・このマニュアルの内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

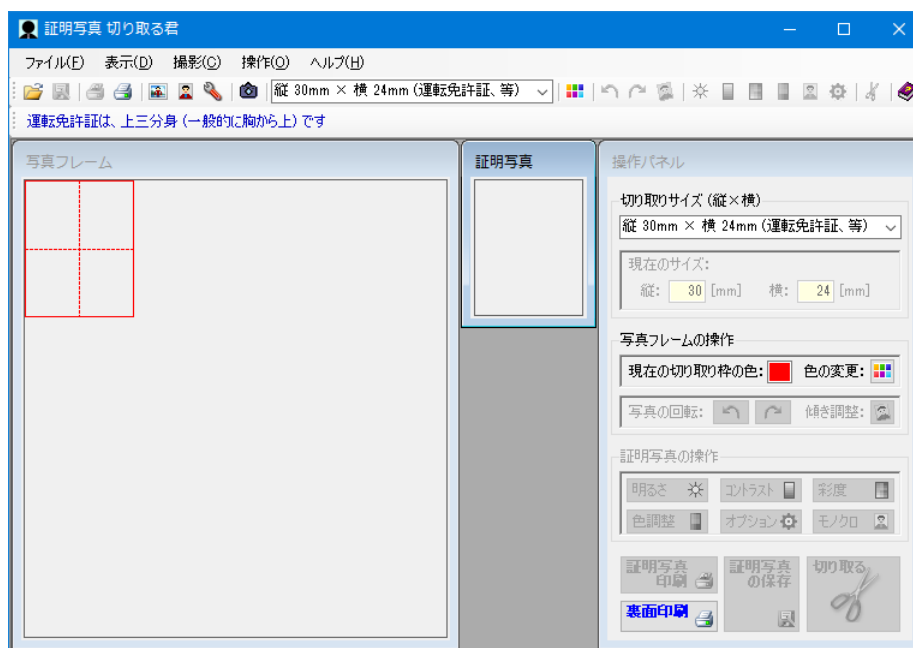
## 用語

用語	意味
L判	写真用紙の大きさを意味します。 具体的には、89mm×127mmの写真用紙です。
Webカメラ	このマニュアルでのWebカメラは、ノートPCに内蔵されているカメラや、USBなどでPCに接続されているカメラデバイスを意味します。
オリジナル写真	証明写真を作成する基となる静止画像を意味します。
証明写真	このマニュアルでの証明写真は、主に、オリジナル写真から切り出して、証明写真として印刷する対象の静止画像を意味します。
クリック	マウスなどのポインティングデバイスの <b>左ボタン</b> をクリックすることを意味します。
右クリック	マウスなどのポインティングデバイスの <b>右ボタン</b> をクリックすることを意味します。

## はじめに

証明写真 切り取る君 (Mr. ID Photo Cutter) (Model: AKM-IPC-100) (以下、「証明写真 切り取る君」) は、Windows 上で動作するアプリケーションソフトウェアです。

デジタルカメラなどで作成された画像ファイルを使って、簡単に証明写真を作成することができます。



「証明写真 切り取る君」には、試用版と製品版があります。

ユーザーID を登録せずに起動した場合、ユーザーID の登録を促す通知メッセージが表示されます。この通知メッセージで、[いいえ] をクリックすると、試用版で起動します。試用版には、後述の機能制限があります。

ユーザーID をお買い求めいただき、「証明写真 切り取る君」に登録していただいた時点で、製品版として動作するようになります。製品版では、基となる写真の撮影から証明写真の印刷まで、「証明写真 切り取る君」の全ての機能をお使いいただけます。

なお、このマニュアルはページ数の多いマニュアルになっておりますが、実際には、第1章「機能概要」までをご覧ください。このマニュアルで、「証明写真 切り取る君」での証明写真の作成方法の概要がご理解いただけます。

機能の詳細がお知りになりたい場合に、第3章「各機能の使い方」以降をご参照ください。

**【ご注意】「証明写真 切り取る君」は、全ての用途の証明写真が作成できることを保証するものではありません。**

証明写真の提出先によっては、証明写真に関して、撮影方法や用紙の規定など、条件が付けられている場合があります。

そのような場合には、証明写真の提出先の指示に従って、証明写真をご用意ください。

## 使用環境と条件

### ■ OS ごとの動作環境

項目		動作環境	
Windows XP (x86, x64)	(注1) (注4)	CPU	1.6 GHz 以上 (注2)
		メモリ	512 KB 以上 (注3)
Windows Vista (x86, x64)	(注1) (注4)	CPU	1.6 GHz 以上 (注2)
		メモリ	2 GB 以上
Windows 7 (x86, x64)	(注1) (注4)	CPU	1.6 GHz 以上 (注2)
		メモリ	2 GB 以上
Windows 8/8.1 (x86, x64)	(注1) (注4)	CPU	1.6 GHz 以上 (注2)
		メモリ	2 GB 以上
Windows 10 (x86, x64)	(注4)	CPU	1.6 GHz 以上 (注2)
		メモリ	2 GB 以上
Windows 11 (x64)	(注4)	CPU	Windows 11 のシステム要件に従う
		メモリ	Windows 11 のシステム要件に従う

(注1) あらかじめ、Microsoft .NET Framework 4 (または 4.x.x) がインストールされている必要があります。

(注2) CPU クロック値は、シングル CPU を基準に記述しています。  
デュアル CPU の場合は、「動作環境の値÷1.5」を目安に換算してください。  
デュアルCPUにはデュアルコアも含まれます。  
なお、ハイパースレッディングCPUは、シングルCPUの動作環境に準じます。

(注3) 「証明写真 切り取る君」の操作内容によっては、より多くのメモリが必要な場合があります。

(注4) 使用するOSに対して、最新のサービスパックおよびセキュリティパッチを適用してください。

なお、Windows XP など、Microsoft 社のサポートが終了している OS をご使用の際は、セキュリティ対策やウイルス対策に、十分ご配慮・ご注意ください。

## ■ その他の共通的な動作環境

項目	動作環境
ハードディスク (注 5)	システムドライブ : 10MB 以上の空き容量 インストール先ドライブ: 10MB 以上の空き容量
ディスプレイ (注 6)	1,024×600ドット以上、16bit 色以上
Web カメラ (注 7)	130 万画素以上を推奨
プリンター (注 8)	L 判の写真用紙への印刷が可能なプリンター
ポインティングデバイス	マウスなど (左ボタンと右ボタンが必要です)
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・.NET Framework 4 (または 4.x.x) がインストールされていること</li> <li>・Adobe Reader がインストールされていること</li> <li>・DirectX 8.1 以上がインストールされていること (注 9)</li> </ul>

(注 5) システムドライブとは、OS がインストールされているドライブ (通常 C ドライブ) のことです。  
インストール先ドライブとは、「証明写真 切り取る君」のインストール先ドライブのことです。

(注 6) この動作環境の値は、解像度が 96dpi (既定) のディスプレイを使用している場合の値です。  
他の解像度のディスプレイの場合は、次の値を参考にしてください。

120dpi (125%) : 1,366×768ドット以上、16bit 色以上  
144dpi (150%) : 1,600×1,200ドット以上、16bit 色以上

(注 7) 全ての Web カメラで画像撮影ができることを保証するものではありません。  
Web カメラでの画像撮影を行わない場合には、Web カメラは必要ありません。

(注 8) 写真印刷が可能なプリンターを準備してください。  
なお、「フチなし印刷」はお勧めしません。

(注 9) Web カメラでの画像撮影を行わない場合、このソフトウェアは必要ありません。

## 操作条件

- (1) 「証明写真 切り取る君」のインストールフォルダーと、その配下のファイルに対して、直接的な操作による変更および削除は行わないでください。  
「証明写真 切り取る君」のアンインストールは、Windows の通常の手順に従って行ってください。
  - (a) Windows 10, または Windows11 の場合、[設定] - [システム] - [アプリと機能] により行ってください。
  - (b) Windows 7, Windows 8, または Windows 8.1 の場合、[コントロール パネル] - [プログラム] - [プログラムのアンインストール] により行ってください。
  - (c) Windows XP の場合、[コントロール パネル] - [プログラムの追加と削除] により行ってください。
- (2) このマニュアルでは、各種手順や画面表示について、Windows 10 をベースに記述しておりますが、他の OS の場合でも概ね同様の手順および画面です。
- (3) このマニュアル上で表示している画像は、個人の特定を防止するなどの理由により、一部ぼかし加工が施されています。あらかじめご了承ください。



## 第1章 機能概要

この章では、「証明写真 切り取る君」の概要について説明します。

- ・機能一覧
- ・メインフォームの各部の名称
- ・証明写真を作るまでの流れ

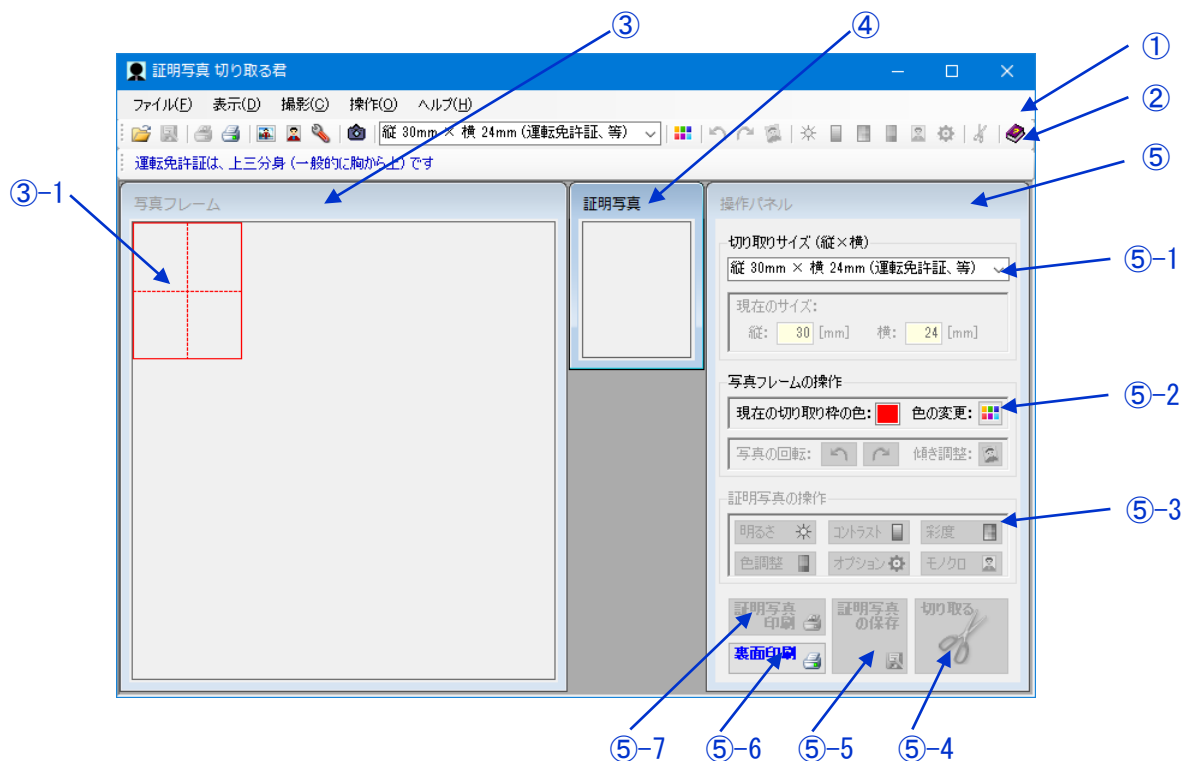
## 機能一覧

機能名	機能概要	試用版	製品版
オリジナル写真を開く	作成する証明写真の基となる画像を開きます	○	○
証明写真を保存する	作成した証明写真をファイルに保存します	○	○
L判で証明写真を印刷	作成した証明写真をL判の写真用紙に印刷します	×	○
L判で証明写真の裏面に文字を印刷	L判の写真用紙の裏面に、文字（受験番号や申請番号、氏名、など）を印刷します	×	○
Webカメラで写真を撮影	Webカメラを使って、作成する証明写真の基となる画像を作成します	○	○
	Webカメラで作成した画像をファイルに保存します	×	○
証明写真サイズの選択および設定	次の7種類から証明写真のサイズを選択します (1) 縦 30mm×横 24mm（運転免許証、等） (2) 縦 40mm×横 30mm（履歴書、等） (3) 縦 45mm×横 35mm（パスポート、等） (4) 縦 45mm×横 35mm（その他、各種申請、等） (5) 縦 50mm×横 40mm（国際免許、等） (6) 縦 50mm×横 50mm（その他、査証、等） (7) 縦 51mm×横 51mm（米国査証）	○	○
	作成する証明写真のサイズを手動で設定します ・縦 5mm～100mm、横 5mm～100mm で設定します ・補助線は最大 3 本まで設定できます		
切り取り枠の色の設定	オリジナル写真を切り取る枠の色を設定します ・服装の色などにより切り取り枠が見づらくなる場合に使用	○	○
オリジナル写真の調整	オリジナル写真を左へ 90° 傾けます	×	○
	オリジナル写真を右へ 90° 傾けます		
	オリジナル写真の傾きを調整します		
証明写真の調整	証明写真の明るさを調整します	×	○
	証明写真のコントラストを調整します		
	証明写真の彩度を調整します		
	証明写真の色合いを調整します		
	証明写真をモノクロにします		
ツールチップ表示	画面上の各項目でツールチップを表示します	○	○
	ツールチップの表示の有無を設定できます		
アンドウー・リドゥー	次の画面上で、アンドウー・リドゥーができます (1) メインフォーム上 (2) L判 証明写真 裏面 印刷 のレイアウト編集	○	○
	アンドウー・リドゥー機能を使用するかしないかの設定ができます ・PCのメモリが少ない場合、使用しない設定にした方が 良い場合があります		
状態の保存	アプリケーション終了時に、画面サイズや各種設定を保存し、次回起動時に同じ状態で使用できるようにします	○	○

※ ○： 機能あり      ※ ×： 機能なし

## メインフォームの各部の名称

ここでは、「証明写真 切り取る君」のメインフォームの各部名称を示します。



- ① メニューバー
- ② ツールバー
- ③ 写真フレーム（作成する証明写真の基となるオリジナル写真を表示するフレームです）
  - ③-1 切り取り枠
- ④ 証明写真（写真フレームから切り取った証明写真を表示するフレームです）
- ⑤ 操作パネル（証明写真を作成するための各種操作を行うパネルです）
  - ⑤-1 [切り取りサイズ] グループボックス
  - ⑤-2 [写真フレームの操作] グループボックス
  - ⑤-3 [証明写真の操作] グループボックス
  - ⑤-4 [切り取る] ボタン
  - ⑤-5 [証明写真の保存] ボタン
  - ⑤-6 [証明写真印刷] ボタン
  - ⑤-7 [裏面印刷] ボタン

## 証明写真を作るまでの流れ



ここ、重要です！

ここでは、「証明写真 切り取る君」で証明写真を作成する流れについて説明します。

【ステップ 1】 作成する証明写真の基となる画像ファイルを用意して、「証明写真 切り取る君」で開きます  
(第3章「オリジナル写真を開く」を参照)

【ステップ 2】 作成する証明写真の基となる画像の傾きを調整します (注) **製品版のみ**  
(第3章「オリジナル写真を調整する」を参照)

【ステップ 3】 証明写真のサイズを決めます  
(第3章「証明写真のサイズを決める」を参照)

【ステップ 4】 画像の大きさと切り取り枠を調整して証明写真を切り出します  
(第3章「証明写真を切り出す」を参照)

【ステップ 5】 必要に応じて、証明写真を加工します (注) **製品版のみ**  
(第3章「証明写真を調整する」を参照)

【ステップ 6】 作成した証明写真を、L判の写真用紙に印刷します (注) **製品版のみ**  
(第3章「証明写真を印刷する」を参照)

【ステップ 7】 必要に応じて、L判の写真用紙の裏面に文字を印刷します (注) **製品版のみ**  
(第3章「裏面に文字を印刷する」を参照)

(注) ステップ 2、ステップ 5、ステップ 6、ステップ 7 は、製品版のみ使用可能です。

(注) 試用版で証明写真を作る方法は、第5章「試用版で証明写真を作成するポイント」を参照してください。

## 第2章 ユーザーID の登録

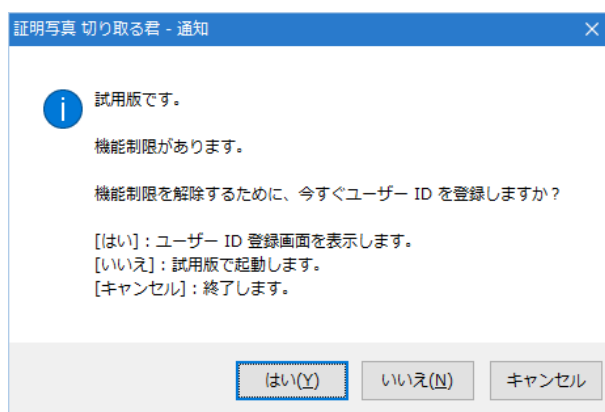
この章では、ユーザーIDをご購入いただいた際の登録方法について説明します。

・ユーザーID の登録

## ユーザーIDの登録

ユーザーIDをご購入いただいたお客様は、次の手順でユーザーIDを登録してください。

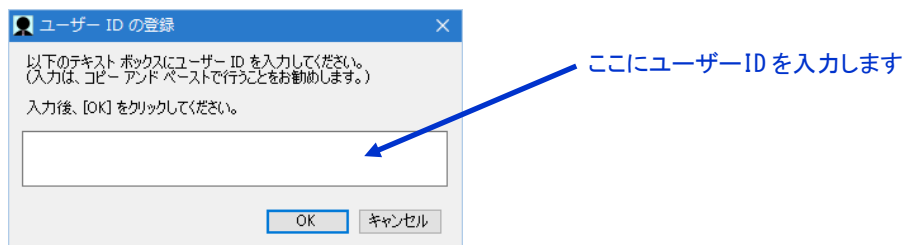
手順1: ユーザーIDが未登録の状態です。「証明写真 切り取る君」を起動すると、次のような画面が表示されますので、[はい] をクリックしてください。



※ [いいえ] をクリックすると、「証明写真 切り取る君」が試用版で起動されます。

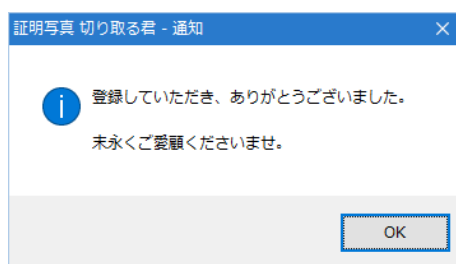
[キャンセル] をクリックすると、「証明写真 切り取る君」は終了します。

手順2: 次のような画面が表示されますので、ユーザーIDを入力し、[OK] をクリックしてください。



※ ユーザーIDは長い文字列ですので、入力は、E-mail で連絡されたユーザーIDをコピー アンド ペースト されることをお勧めします。

手順3: ユーザーIDの登録が成功すると、次のような画面が表示されますので、[OK] をクリックしてください。

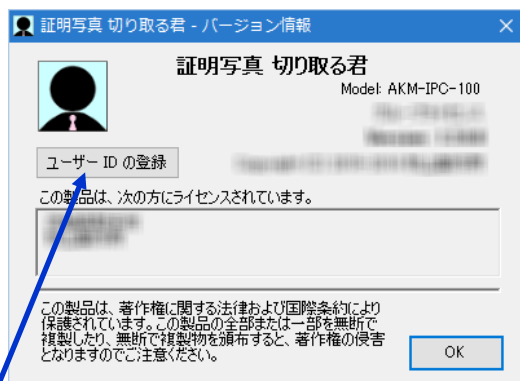


以上でユーザーIDの登録は完了です。「証明写真 切り取る君」は製品版で起動されます。

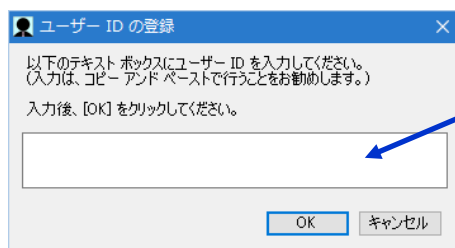
## 【ライセンスの切り替え】

何らかのご事情で、ライセンス（ユーザーID）を個人ライセンスからグループライセンスに切り替える場合（あるいは、その逆の場合）、次の手順でユーザーIDを登録してください。

手順1: メニューバーの [ヘルプ] - [バージョン情報] をクリックして、[バージョン情報] ダイアログボックスを開きます。

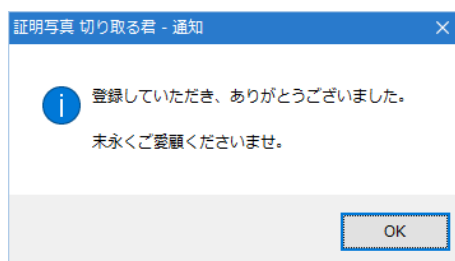


手順2: [ユーザー ID の登録] ボタンをクリックして、[ユーザー ID の登録] ダイアログボックスを開き、ユーザーIDを入力して、[OK] をクリックしてください。



※ ユーザーIDは長い文字列ですので、入力は、E-mail で連絡されたユーザーIDをコピー アンド ペースト されることをお勧めします。

手順3: ユーザーIDの登録が成功すると、次のような画面が表示されますので、[OK] をクリックしてください。



手順4: [バージョン情報] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。

## 第3章 各機能の使い方

この章では、「証明写真 切り取る君」の各機能の使い方について詳細に記述しています。

- ・オリジナル写真を開く
- ・オリジナル写真を調整する
- ・証明写真のサイズを決める
- ・証明写真を切り出す
- ・証明写真を調整する
- ・証明写真を印刷する
- ・裏面に文字を印刷する
- ・その他の機能

本文中、※は使い方のポイントを、(注) は注意点を示しています・




## オリジナル写真を開く

「証明写真 切り取る君」で作成する証明写真の基となる画像（これを「オリジナル写真」と呼びます）を開きます。

### 画像ファイルからオリジナル写真を開く

画像ファイルからオリジナル写真を開く方法は、次の 3 種類があります。

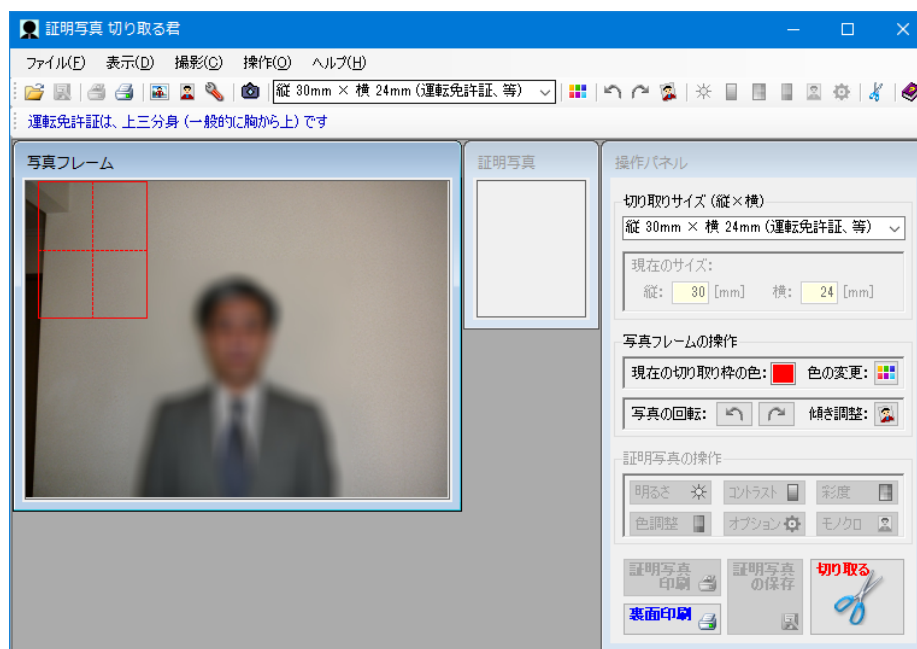
- (1) メニューバーの [ファイル] - [オリジナルの写真を開く] をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする
- (3) オリジナル写真のファイルをドラッグして、写真フレームにドロップする

※ 使用できる画像ファイルの種類は、次の 5 種類です。

- (1) ビットマップ ファイル (\*.bmp)
- (2) JPEG ファイル (\*.jpg, \*.jpeg)
- (3) PNG ファイル (\*.png)
- (4) GIF ファイル (\*.gif)
- (5) TIFF ファイル (\*.tif, \*.tiff)

(注) 一つのファイルに複数の画像が入っているタイプの画像ファイルは、使用できません。

(注) 2000 万画素を超える解像度の画像の場合、自動的に 2000 万画素に縮小されます。




## Web カメラで撮影した画像を開く

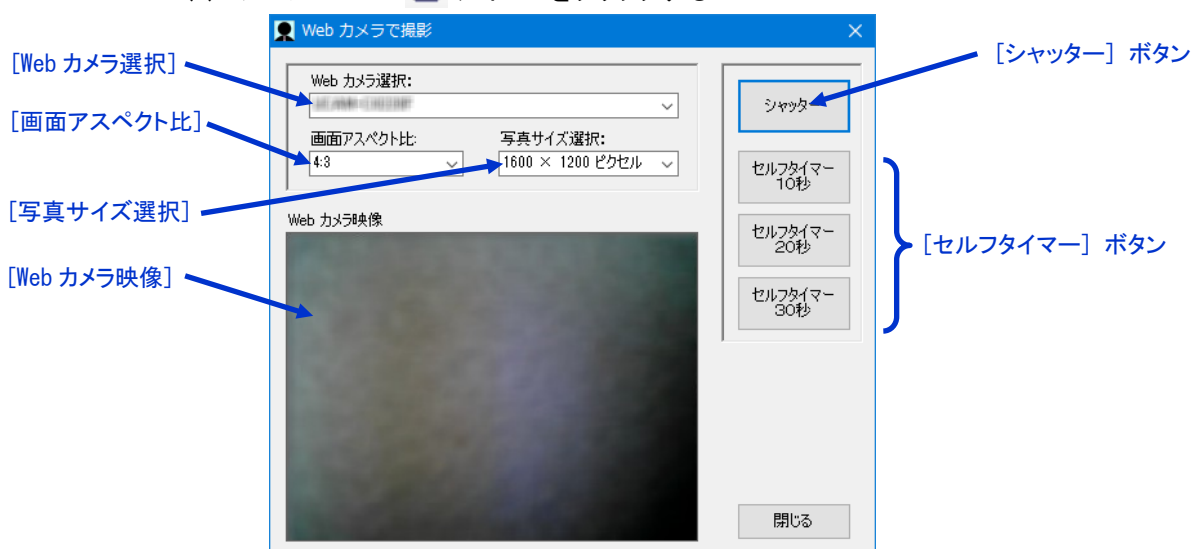
PC に Web カメラが搭載されている場合、Web カメラで撮影した静止画をオリジナル写真として開くことができます。

(注) いくつかのノート PC 内蔵の Web カメラと、USB 接続の Web カメラでの動作を確認していますが、  
全ての Web カメラで画像撮影ができることを保証するものではありません。  
必ず、ご使用者様ご自身の環境でご確認ください。

Web カメラで静止画を撮影する場合、次の手順で行ってください。

手順 1: [Web カメラで撮影] ダイアログボックスを開きます。次のどちらかの方法で開いてください。

- (1) メニューバーの [撮影] - [Web カメラで写真を撮影する] をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする



手順 2: Web カメラが複数台搭載されている場合、[Web カメラ選択] で、使用する Web カメラを選択してください。

次に、[Web カメラ映像] を確認しながら、適切な [画像アスペクト比] を選択してください。

※ [画像アスペクト比] コンボボックスには、次の 2 種類の画面アスペクト比が表示されます。

- (1) 4:3, (2) 16:9

(注) [画像アスペクト比] を変更した場合、[Web カメラで撮影] ダイアログボックスが再起動されます。  
再起動されるまで、しばらくお待ちください。

次に、[写真サイズ選択] で、静止画のサイズを選択してください。

※ [写真サイズ選択] コンボボックスには、次の 3 種類のサイズが表示されます。

[画像アスペクト比] が [4:3] の場合：

(1) 1600×1200 ピクセル, (2) 1280×960 ピクセル, (3) 640×480 ピクセル

(注) 通常、1600×1200 ピクセルをご使用ください。

[画像アスペクト比] が [16:9] の場合：

(1) 1920×1080 ピクセル, (2) 1600×900 ピクセル, (3) 1280×720 ピクセル

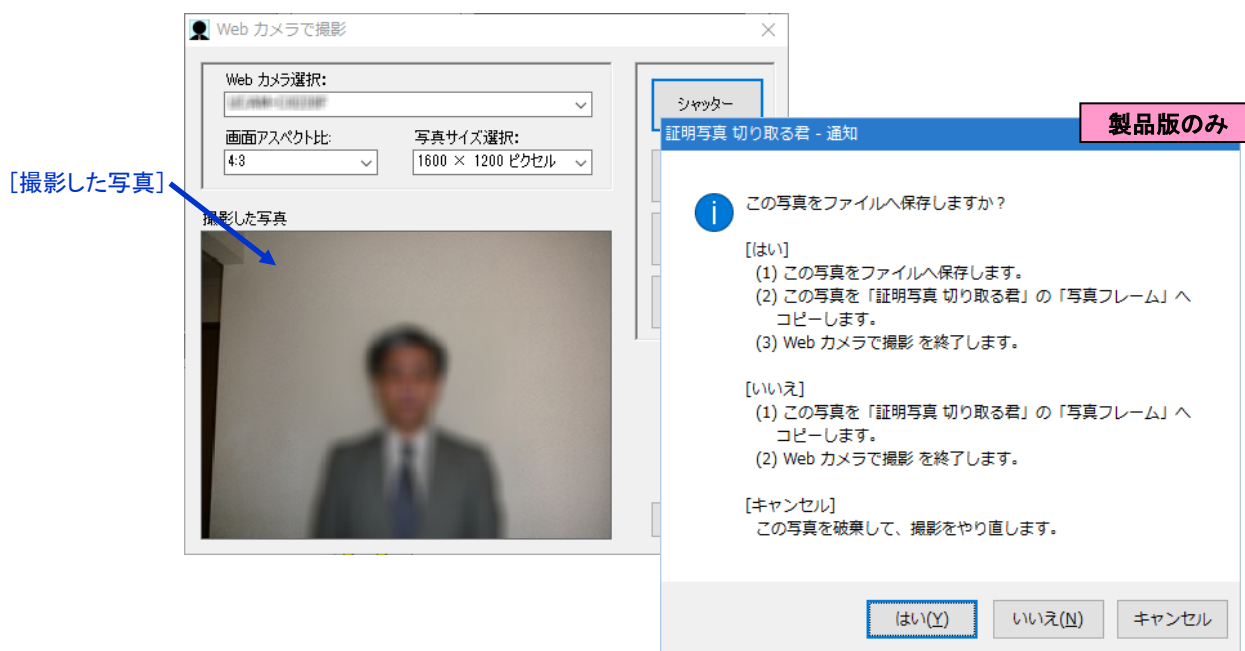
(注) 通常、1920×1080 ピクセルをご使用ください。

手順 3: [Webカメラ映像] を見ながら構図を確認して、[シャッター] ボタンをクリックすると、静止画が撮影されます。

※ 即時に撮影する [シャッター] ボタン以外に、3 種類の [セルフタイマー] ボタンが使えます。  
Web カメラから離れることで [シャッター] ボタンがクリックしにくい場合などにご活用ください。

(注) 暗い場所で撮影すると、静止画が粗くなります。できるだけ明るい場所で撮影してください。

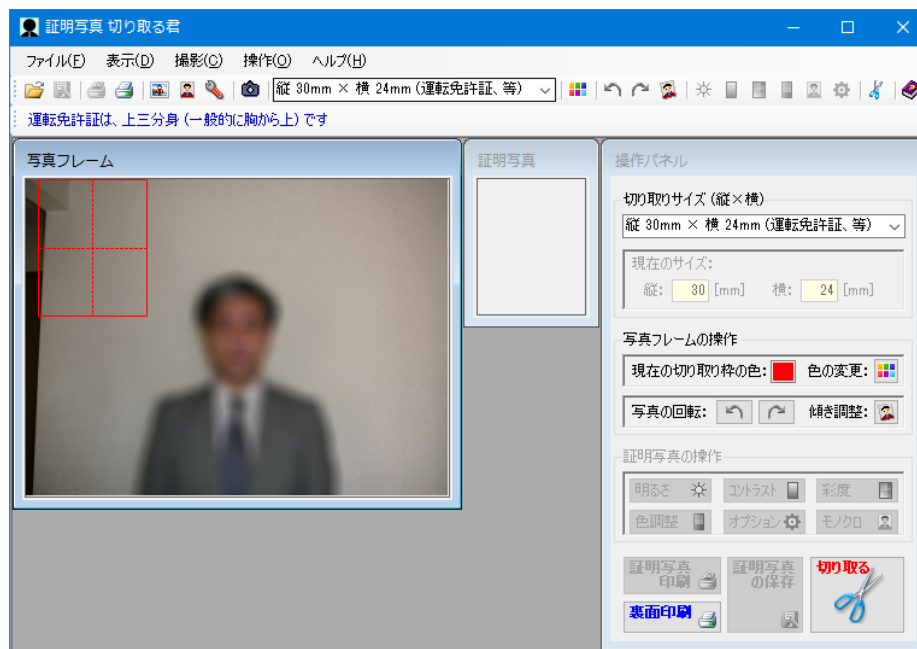
手順 4-1: **製品版の場合**、撮影した静止画が [撮影した写真] に表示され、確認の通知画面が表示されます。



撮影した写真を使用する場合・・・

【はい】をクリックすると、撮影した静止画をファイルに保存した後、写真フレームにこの写真が表示されます。

【いいえ】をクリックすると、静止画をファイルに保存せず、写真フレームにこの写真が表示されます。



撮影し直す場合・・・

【キャンセル】 ボタンをクリックして、手順 1 からやり直してください。

※ 保存に使用できる画像ファイルの種類は、次の 5 種類です。

- (1) ビットマップ ファイル (\*. bmp)
- (2) JPEG ファイル (\*. jpg, \*. jpeg)
- (3) PNG ファイル (\*. png)
- (4) GIF ファイル (\*. gif)
- (5) TIFF ファイル (\*. tif, \*. tiff)

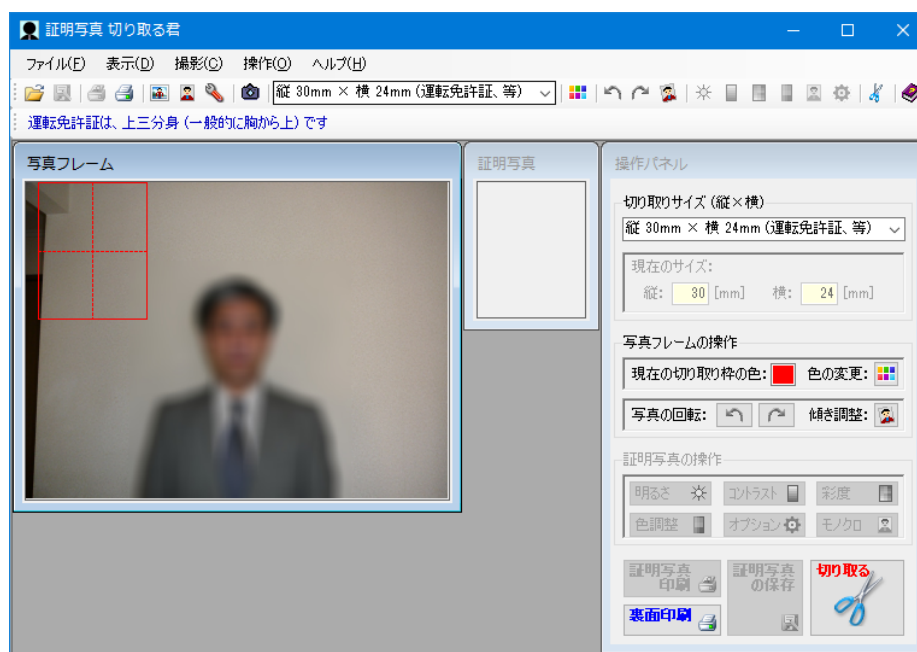
なお、保存形式は、指定された【ファイル名】の拡張子により、自動的に判断されます。  
ファイル名に拡張子が指定されなかった場合は、保存時に設定されている【ファイルの種類】の  
ファイル拡張子が自動的に付与されます。

手順 4-2: **試用版の場合**、撮影した静止画が「撮影した写真」に表示され、確認の通知画面が表示されます。



撮影した写真を使用する場合・・・

【はい】をクリックすると、静止画をファイルに保存せず、写真フレームにこの写真が表示されます。



撮影し直す場合・・・

【いいえ】ボタン、または【キャンセル】ボタンをクリックして、手順 1 からやり直してください。

## 【Web カメラ制御タイプを切り替える】

「証明写真 切り取る君」は、Web カメラの制御タイプとして、[タイプ A] と [タイプ B] の 2 種類のタイプを持っています。 ※ 初期値は [タイプ A] です。

[タイプ A] : 比較的新しい（または解像度が高い）Web カメラに適合しています。

[タイプ B] : 比較的古い（または解像度が低い）Web カメラに適合しています。

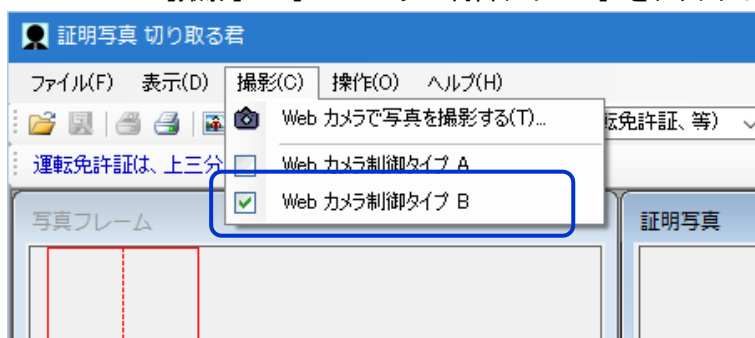
お使いの Web カメラで、次のような問題が発生する場合には、Web カメラの制御タイプを [タイプ B] に切り替えてみてください。

- (1) Web カメラが見つからない
- (2) Web カメラ画像（プレビュー）がうまく表示できない
- (3) Web カメラでの撮影が行えない
- (4) Web カメラで撮影した時、静止画が Web カメラ画像（プレビュー）より暗くなってしまう

Web カメラの制御タイプの切り替えは、次の操作により行います。

### ・Web カメラの制御タイプを [タイプ B] に変更する場合：

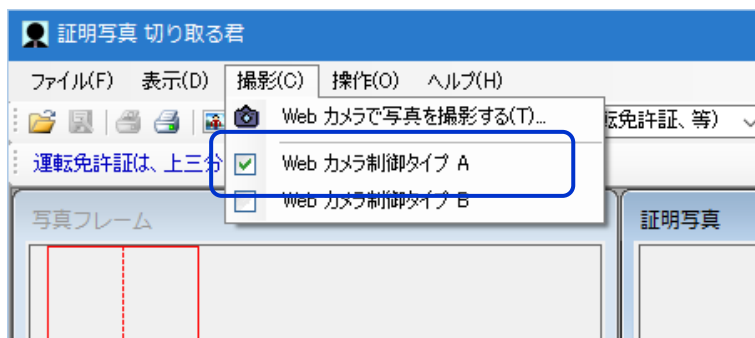
メニューバーの [撮影] - [Web カメラの制御タイプ B] をクリックします



※ [タイプ B] に切り替わると、上図のように、メニューにチェックマーク  が付きます。

### ・Web カメラの制御タイプを [タイプ A] に戻す場合：

メニューバーの [撮影] - [Web カメラの制御タイプ A] をクリックします



※ [タイプ A] に戻すと、上図のように、メニューにチェックマーク  が付きます。

[タイプ A] でも [タイプ B] でも、うまく動作しない場合、その Web カメラは「証明写真 切り取る君」の動作対象外の機種ですので、別の Web カメラでお試してください。

## オリジナル写真を調整する

用意したオリジナル写真の縦横の向きが違っている場合や、傾いている場合、証明写真を切り出す前にオリジナル写真の向きや角度を調整することができます。 (注) 製品版のみの機能です。



オリジナル写真の調整には、次の2種類があります。

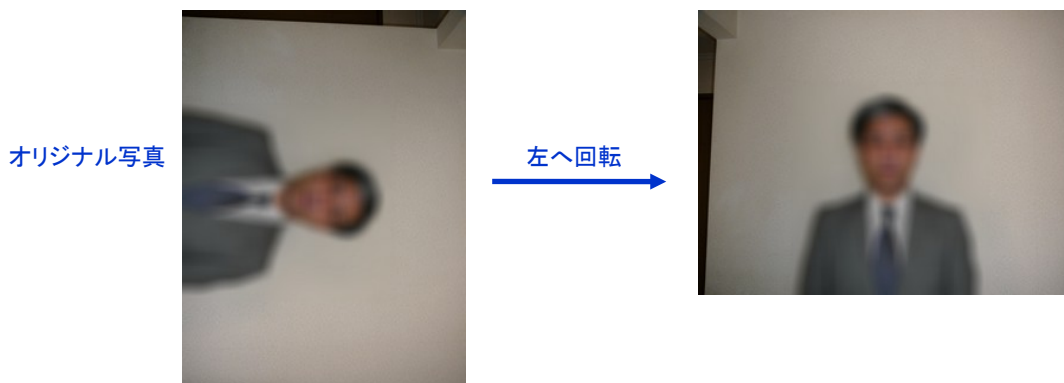
- ・ オリジナル写真を左（または右）に90° 回転する
- ・ オリジナル写真の傾きを調整する

### オリジナル写真を左（または右）に90° 回転する



オリジナル写真の縦横の向きが違っている場合、次のいずれかの操作で90° 回転させてください。

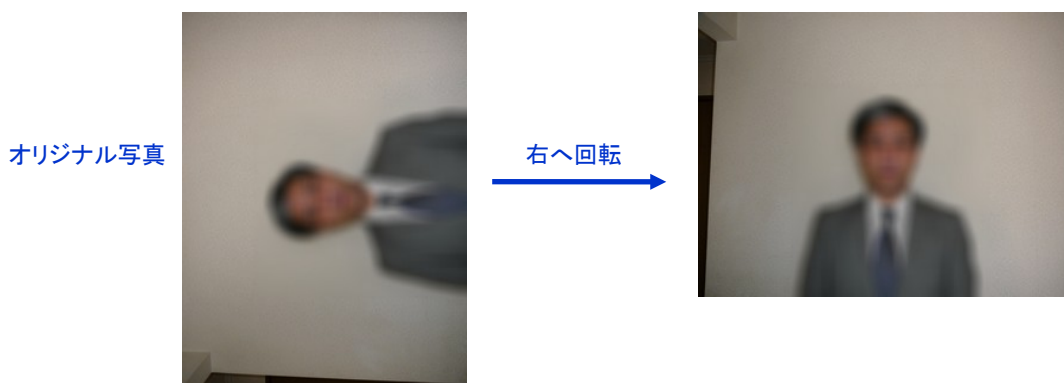
左へ90° 回転させる場合：

- (1) メニューバーの [操作] - [オリジナル写真を90° 左へ回転] をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする
- (3) 操作パネルの  ボタンをクリックする



右へ90° 回転させる場合：



- (1) メニューバーの [操作] - [オリジナル写真を90° 右へ回転] をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする
- (3) 操作パネルの  ボタンをクリックする

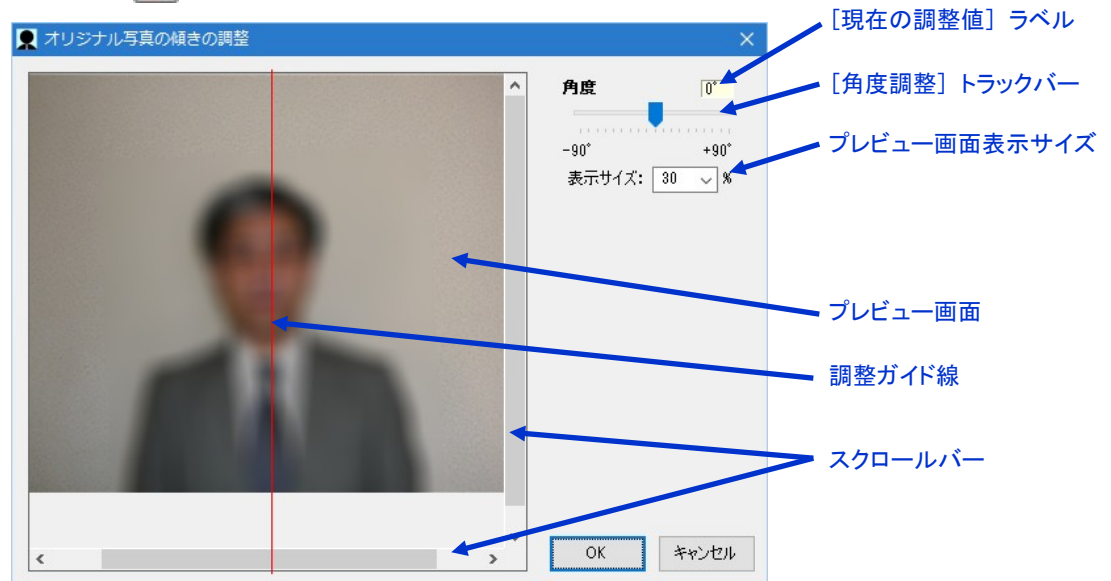


※ 回転させた結果は、「証明写真 切り取る君」の写真フレームに表示される写真に適用されるだけで、オリジナル写真のファイルには影響を与えません。

## オリジナル写真の傾きを調整する

オリジナル写真の人物像が傾いている場合、次のいずれかの操作で「オリジナル写真の傾きの調整」ダイアログボックスを開いて、傾きを調整してください。

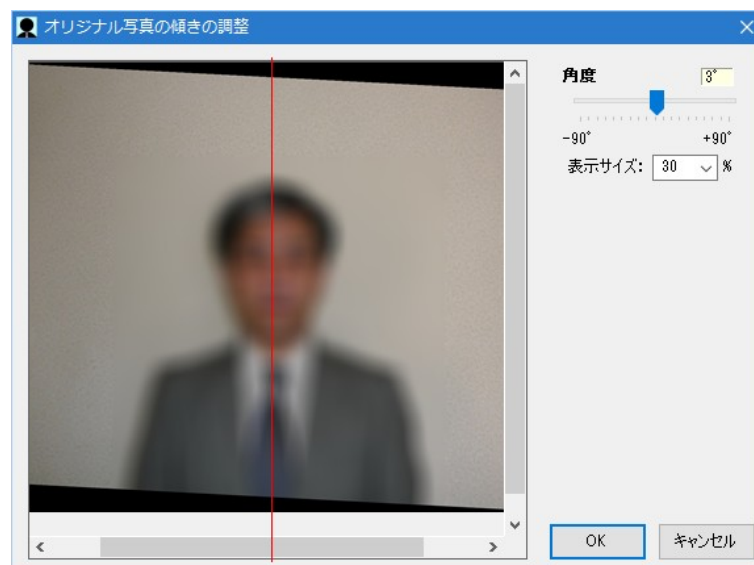
- (1) メニューバーの「操作」 - 「オリジナル写真の傾きを調整する」をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする
- (3) 操作パネルの  ボタンをクリックする



スクロールバーにより、調整ガイド線をたよりに、プレビュー画面の位置を調整します。

※ プレビュー画面には、オリジナル写真が実サイズで表示されますので、プレビュー表示サイズを調整して、傾きの調整がやりやすい大きさにしてください。（参考：1600×1200ピクセルの場合、30%～40%程度に設定）

トラックバーを動かして、角度を調整します。





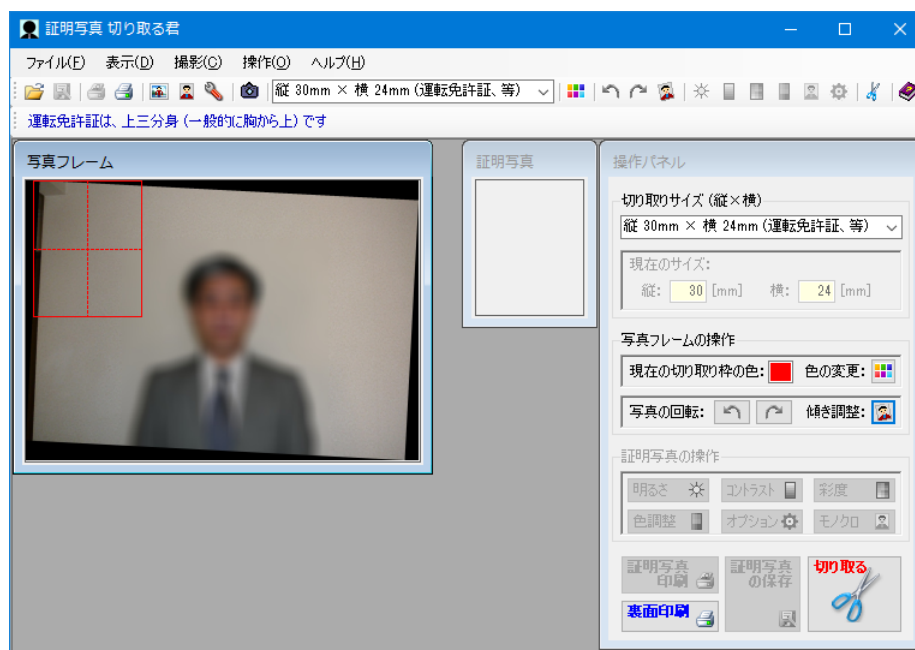
上図の例では、人物像をまっすぐに表示するために、+3° 傾けています。

(注) プレビュー画面への調整内容の適用は、トラックバーからマウスのボタンを離れた時点で行われます。

※ トラックバーは、マウスによる操作のほかに、キーボードの左矢印キーおよび右矢印キーでも操作することができます。

※ [現在の調整値] ラベルをダブルクリックすることにより、角度を0° に戻すことができます。

傾きの調整が終わったら、[OK] ボタンをクリックすることで、写真フレームのオリジナル写真が調整後の写真に置き換わります。



※ 傾きの調整結果は、「証明写真 切り取る君」の写真フレームに表示される写真に適用されるだけで、オリジナル写真のファイルには影響を与えません。

## 証明写真のサイズを決める

オリジナル写真を開いて、必要に応じて調整を行った後、証明写真のサイズを決めます。  
既定のサイズとして、次の7種類を用意しています。

- (1) 縦 30mm×横 24mm (運転免許証、等)
- (2) 縦 40mm×横 30mm (履歴書、等)
- (3) 縦 45mm×横 35mm (パスポート、等)
- (4) 縦 45mm×横 35mm (その他、各種申請、等)
- (5) 縦 50mm×横 40mm (国際免許、等)
- (6) 縦 50mm×横 50mm (その他、査証、等)
- (7) 縦 51mm×横 51mm (米国査証)

※ (3) と (4) は同じサイズですが、(3) は、特にパスポート用の証明写真が作りやすいような切り取り枠になっています。

規定のサイズは、次のどちらかの操作により選択してください。

- (1) ツールバーの [切り取りサイズ (縦×横)] コンボボックスで選択
- (2) 操作パネルの [切り取りサイズ] グループボックスのコンボボックスで選択

規定のサイズ以外に、証明写真のサイズを作成することもできます。

証明写真のサイズを作成する場合、次のどちらかの操作により、[サイズを設定] ダイアログボックスを表示させてください。

- (1) ツールバーの [切り取りサイズ (縦×横)] コンボボックスで、[縦 [mm] と横 [mm] を手動で設定] を選択
- (2) 操作パネルの [切り取りサイズ] グループボックスのコンボボックスで、[縦 [mm] と横 [mm] を手動で設定] を選択



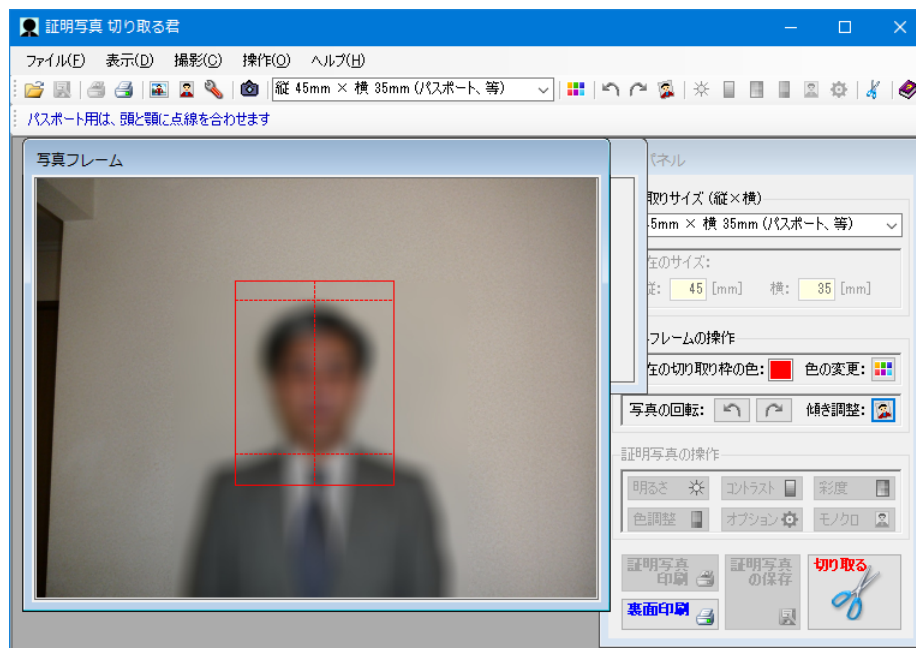
作成する証明書のサイズを [切り取りサイズ] へ入力し、[OK] ボタンをクリックします。

※ 縦 5mm～100mm、横 5mm～100mm の範囲で設定できます。

※ 最大3本の補助線 (横点線) が設定できます。



## 証明写真を切り出す

まず、オリジナル写真の大きさと切り取り枠の位置を調整します。

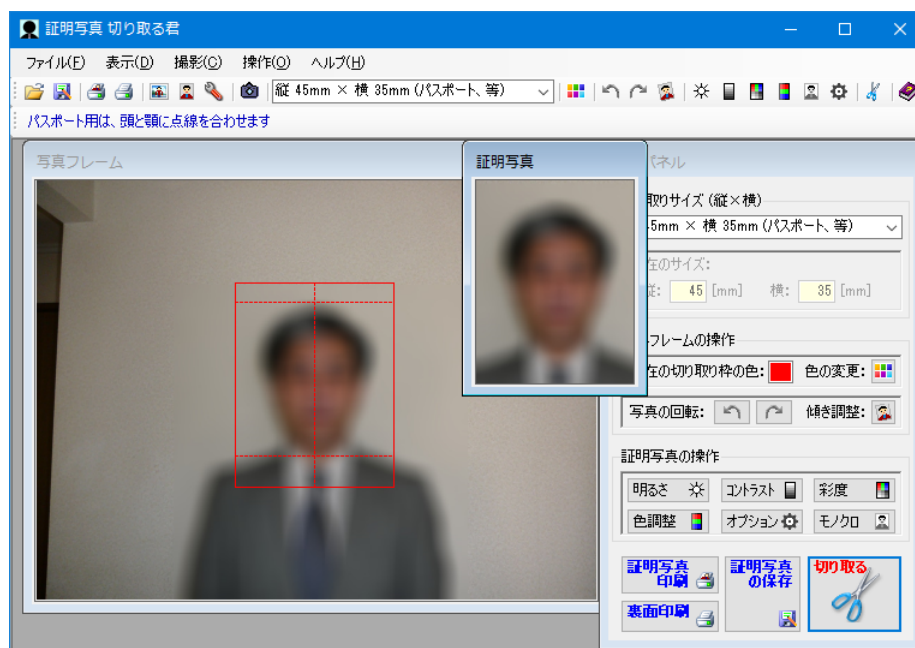


- ※ 切り取り枠をマウスでドラッグアンドドロップするか、切り取り枠をキーボードの上下左右キーで動かす（これは、主に微調整）ことにより、切り取り枠の位置を調整してください。
- ※ 切り取り枠の大きさは固定です。写真フレームの右下を引っ張る（ドラッグアンドドロップする）ことにより、オリジナル写真側の大きさを調整することで、証明写真に丁度良い大きさに調整してください。
- ※ 写真フレームの大きさが足りなくなった場合、「証明写真 切り取る君」のメインフォームの右下を引っ張る（ドラッグアンドドロップする）か、メインフレームを最大化することにより、「証明写真 切り取る君」全体を大きくしてから、写真フレームの調整を行ってください。

オリジナル写真の大きさと切り取り枠の位置の調整ができれば、証明写真を切り出します。  
次のいずれかの操作により、証明写真を切り出してください。

- (1) メニューバーの [操作] - [切り取る] をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする
- (3) 操作パネルの  ボタンをクリックする

この操作により、証明写真の画面に切り取った画像が表示されます。






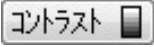



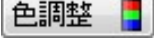


## 証明写真を調整する

一般的に、証明写真には、過度の調整を加えるべきではありません。(目をパッチリさせる、など)

しかしながら、オリジナル写真の状況により、多少は調整したい時があります。(明るさや色合い、など)

「証明写真 切り取る君」では、過度な調整にならない程度で使用されることを想定し、次の5種類の証明写真の調整機能を用意しています。

(注) 製品版のみの機能です。

- (1) 明るさの調整: 次のいずれかでダイアログボックスを開きます  
メニューバーの [操作] - [証明写真の明るさを調整する] をクリックする  
ツールバーの  アイコンをクリックする  
操作パネルの  ボタンをクリックする
- (2) コントラストの調整: 次のいずれかでダイアログボックスを開きます  
メニューバーの [操作] - [証明写真のコントラストを調整する] をクリックする  
ツールバーの  アイコンをクリックする  
操作パネルの  ボタンをクリックする
- (3) 彩度の調整: 次のいずれかでダイアログボックスを開きます  
メニューバーの [操作] - [証明写真の彩度を調整する] をクリックする  
ツールバーの  アイコンをクリックする  
操作パネルの  ボタンをクリックする
- (4) 色合いの調整: 次のいずれかでダイアログボックスを開きます  
メニューバーの [操作] - [証明写真の色合いを調整する] をクリックする  
ツールバーの  アイコンをクリックする  
操作パネルの  ボタンをクリックする
- (5) モノクロにする: 次のいずれかで調整を実行します  
メニューバーの [操作] - [証明写真をモノクロにする] をクリックする  
ツールバーの  アイコンをクリックする  
操作パネルの  ボタンをクリックする

(注) モノクロにする機能にはダイアログボックスはなく、クリックした時点でモノクロになります。

誤って操作しないよう十分注意してください。

誤操作してしまった場合には、アンドウー機能 (Ctrl + Z) で、元に戻してください。

【明るさ調整 ダイアログ】

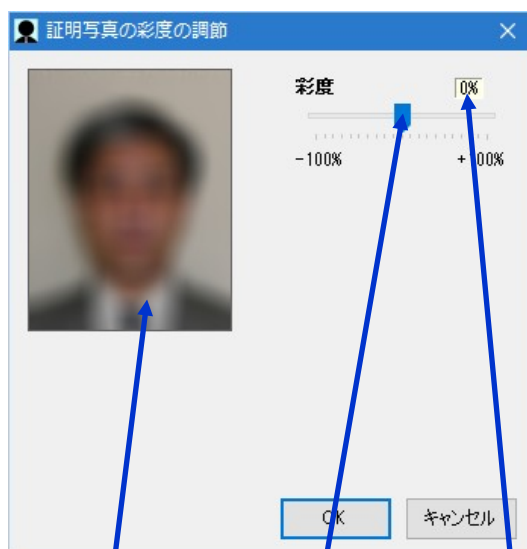


【コントラスト調整 ダイアログ】

製品版のみ



【彩度調整 ダイアログ】



【色合い調整 ダイアログ】



プレビュー画面      トラックバー      [現在の調整値] ラベル

※ プレビュー画面を見ながら、マウスでトラックバーを操作して、各種調整を行います。

(注) プレビュー画面への調整内容の適用は、トラックバーからマウスのボタンを離れた時点で行われます。

※ トラックバーをキーボードの左矢印キーおよび右矢印キーで操作することもできます。

※ [現在の調整値] ラベルをダブルクリックすることにより、角度を 0° に戻すことができます。

調整ができれば、各ダイアログボックスの [OK] ボタンをクリックすることで、証明写真が調整後の写真に置き換わります。

## 証明写真をファイルに保存する

「証明写真 切り取り君」で可能な証明写真の印刷は、L判の写真用紙への印刷のみです。



このため、作成した証明写真の横幅が約 80mm を超えるような大きなサイズだった場合、残念ながら「証明写真 切り取る君」では印刷できません。

また、「作成した証明写真を使って、後日再び証明写真を印刷したい」という場面や、「いろいろなサイズの証明写真を作成して、一枚の用紙に出力したい」という場面もあるかと思います。

さらに、「証明写真 切り取る君」の印刷機能は、製品版のみの機能です。「試用版でどうやって証明写真を作れば良いの？」という声も聞こえてきそうです。

このような各種場面に柔軟に対応できるよう、「証明写真 切り取る君」では、作成した証明写真をファイルに保存する機能を持っています。

次のいずれかの操作により、証明写真をファイルに保存することができます。

- (1) メニューバーの [ファイル] - [証明写真を保存する] をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする
- (3) 操作パネルの  ボタンをクリックする

※ 保存に使用できる画像ファイルの種類は、次の 5 種類です。

- (1) ビットマップ ファイル (\*.bmp)
- (2) JPEG ファイル (\*.jpg, \*.jpeg)
- (3) PNG ファイル (\*.png)
- (4) GIF ファイル (\*.gif)
- (5) TIFF ファイル (\*.tif, \*.tiff)

なお、保存形式は、指定された [ファイル名] の拡張子により、自動的に判断されます。ファイル名に拡張子が指定されなかった場合は、保存時に設定されている [ファイルの種類] のファイル拡張子が自動的に付与されます。

※ 「作成した証明写真を使って、後日再び証明写真を印刷する」、「証明写真 切り取る君」で印刷できないサイズの証明写真を印刷する、「いろいろなサイズの証明写真を作成して一枚の用紙に印刷する」、などの場合は、第4章「保存しておいた証明写真を活用する」を参照してください。

※ 試用版で証明写真を作成する場合には、第5章「試用版で証明写真を作成するポイント」を参照してください。

## 解像度（ピクセル数）固定機能 について

製品版のみ

「証明写真 切り取り君」は、基本的に証明写真を作るためのツールです。  
 ですから、オリジナル写真からできるだけ高解像度の証明写真が切り取れるように設計されています。

しかしながら、用途によっては、切り出す証明写真の解像度（つまり縦横のピクセル数）を固定したい場合もあるかと思います。（例えば、大量の証明写真をファイルで管理したい場合など。）

「証明写真 切り取る君」は、「解像度（ピクセル数）固定機能」を持っています。

（注）製品版のみの機能です。

例えば、3200ピクセル×2400ピクセルのオリジナル写真から、パスポート用の縦45mm×横35mmの証明写真を切り取った場合、縦1144ピクセル×横889ピクセルの証明写真になります。

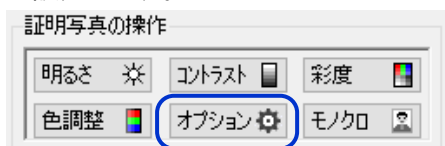
そして、それをできるだけ高解像度のまま、縦45mm×横35mmに押し込んで印刷します。



このため、切り取った証明写真をファイルに保存した場合、保存したファイルの解像度（ピクセル数）は、オリジナル写真の解像度によって、まちまちになります。

しかし、「解像度（ピクセル数）固定機能」を使用すると、切り取った証明写真をファイルに保存する時、保存するファイルの解像度（ピクセル数）を指定した解像度に固定することができます。

「解像度（ピクセル数）固定機能」は、証明写真を切り取った状態で有効になる [オプション] をクリックして設定します。

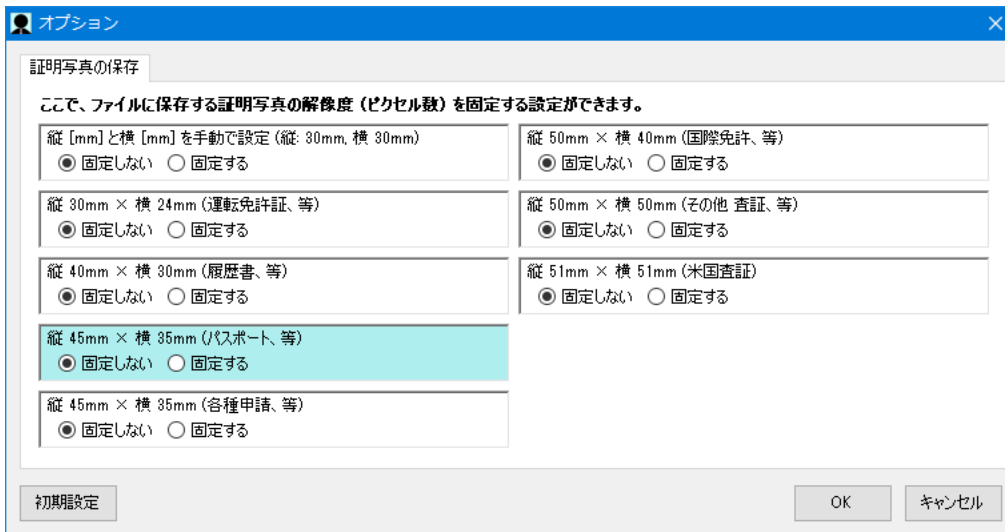


※ [メニュー] - [操作] - [オプション] でも設定できます。

※ ツールバーの  をクリックしても設定できます。

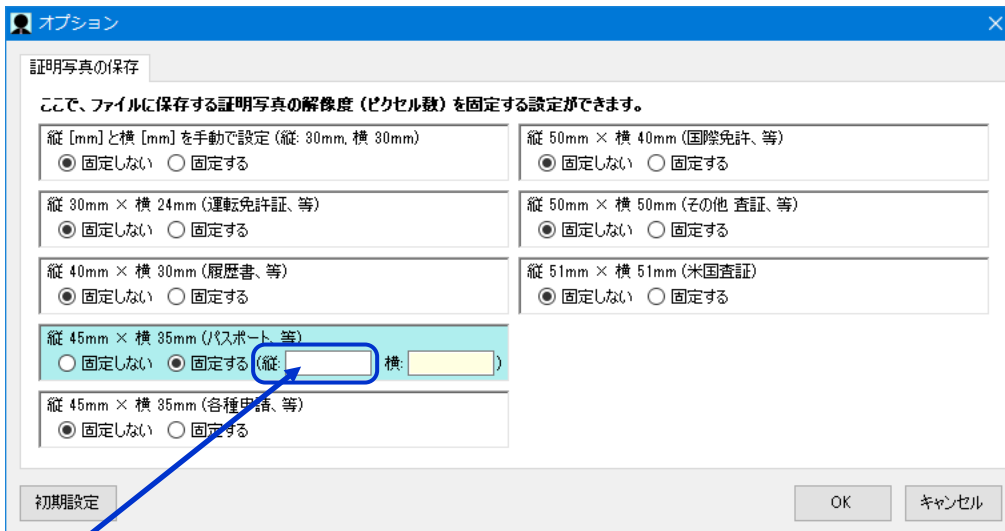


[オプション] をクリックすると、次のようなオプション設定画面が表示されます。



※ 選択されている [切り取りサイズ] の背景が水色になります。

解像度 (ピクセル数) を固定する場合、[固定する] をチェックすると、縦のピクセルを入力する画面が表示されます。

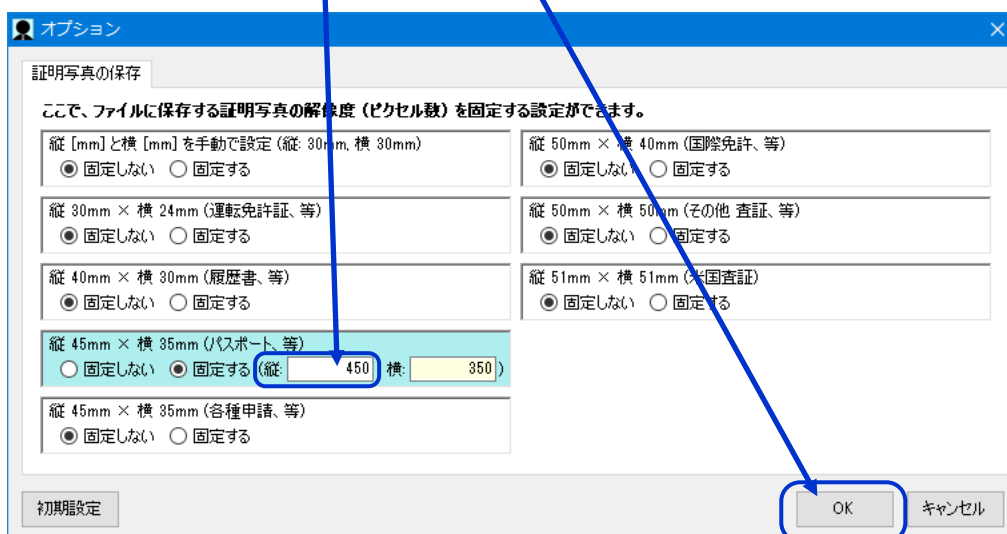


ここに、縦のピクセル数を入力します。

※ 縦横比は固定です。縦のピクセル数を入力することで、横のピクセル数は自動的に設定されます。

(注) 5mm に満たないような小さいピクセル値を設定することはできません。

縦のピクセル数（例えば 450）を入力後、[OK] をクリックします。



これで、「解像度（ピクセル数）固定」の設定は完了です。

以降、[証明写真の保存] を実行すると、（上述の例では [縦 45mm × 横 35mm（パスポート、等）] について）指定したピクセル数で画像ファイルが保存されるようになります。

- ※ 「解像度（ピクセル数）固定」の設定は保持されます。
- ※ 「解像度（ピクセル数）固定」をやめる場合には、上述と同様の操作で [固定しない] をチェックします。

上述の例で、次のような 解像度が固定された画像ファイルが作成されます。



(注) 解像度（ピクセル数）を固定した場合、オリジナル写真が高解像度であっても、指定されたピクセル数により、保存ファイルの解像度が落ちますので、ご注意ください。

(注) オプション設定画面は、アンドゥー・リドゥー機能の対象外です。

なお、「解像度（ピクセル数）固定」で証明写真を保存する際、ファイル指定の画面が次のようになります。



## 【おまけ機能】 米国査証 インターネット申請用 証明写真について



米国査証はインターネット申請が可能です。  
但し、その場合、証明写真もファイルで提出しますが、提出ファイルに大変細かな条件があります。

2015年7月時点で・・・

- (1) 最小画素数：600×600ピクセル、最大画素数 1200×1200ピクセル
- (2) ファイル形式：JPEG または JFIF
- (3) ファイルサイズ：240KB 以下

このため、証明写真のサイズに、既定の「縦 51mm×横 51mm（米国査証）」を使用した場合に限り、保存した証明写真が上記の条件（1）に合致しない場合、証明写真を保存したフォルダーと同じフォルダーに、上記の条件（1）に合致するように画素数を調整（ズーム）した証明写真ファイルを自動的に作成します。

自動的に作成するファイルのファイル名は、保存した証明写真のファイル名に「\_Addition」が付加されたファイル名になります。（ファイルの種類は、条件（2）を満たすために、自動的にJPEG ファイル（拡張子 .JPG）になります。）

例：保存した証明写真のファイル名が「UsaVisa.bmp」の場合、「UsaVisa\_Addition.jpg」が作成されます。



上記の条件（3）については、作成された証明写真のファイルをご使用者様ご自身でご確認ください。

（注）「解像度（ピクセル数）固定機能」を使用している場合には、この「おまけ機能」は動作しません。

## 証明写真を印刷する

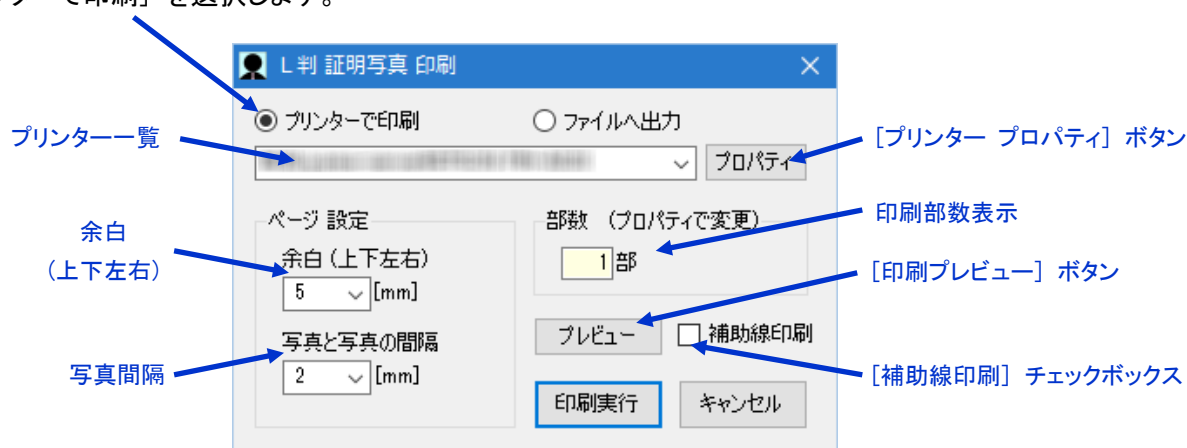
作成した証明写真をL判の写真用紙に印刷します。 (注) 製品版のみの機能です。

次のいずれかの操作により、[L判 証明写真 印刷] ダイアログを開いてください。

- (1) メニューバーの [ファイル] - [L判で証明写真を印刷する] をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする
- (3) 操作パネルの  ボタンをクリックする

### ■ プリンターで印刷する

[プリンターで印刷] を選択します。



(注) PC にプリンターがインストールされていない場合、[プリンターで印刷] は選択できません。

プリンター一覧から証明写真を印刷するプリンターを選択し、余白と写真間隔を設定して、[印刷実行] ボタンをクリックすることで、証明写真を印刷します。

- ※ 余白は、0mm から 10mm の間で、1mm 単位で選択します。
- ※ 写真間隔は、0mm から 10mm の間で、1mm 単位で選択します。
- ※ 余白と写真間隔の意味については、後述の [印刷プレビュー] でご確認ください。

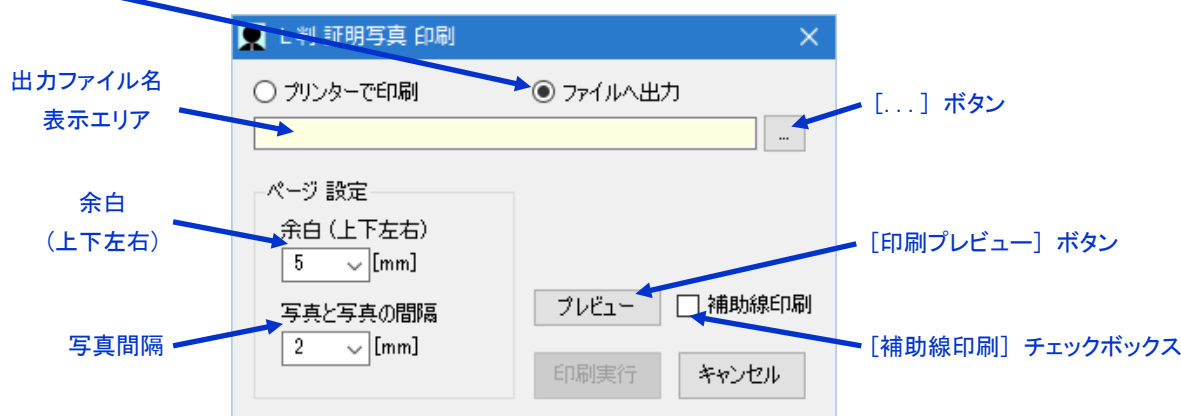
- ※ [補助線印刷] チェックボックスをチェックして印刷すると、補助線が印刷されます。  
証明写真の背景が白くて、境目が分からず、物理的に切り取りにくい場合に、ご活用ください。  
印刷されるイメージは、後述の [印刷プレビュー] でご確認ください。

(注) 印刷部数表示は、設定されている印刷部数の表示を行うのみで、ここでは部数の設定は行えません。  
印刷部数は、[プリンター プロパティ] ボタンをクリックして、プリンターのプロパティ画面で設定してください。

(注) プリンターの機種により、ある程度の余白が必要な場合があります。  
[L判 証明写真 印刷] ダイアログで設定した余白が、プリンターで必須の余白より狭い場合、印刷実行時に通知メッセージが表示されますので、メッセージの内容に従って、余白を再設定してください。

## ■ ファイルへ出力する

[ファイルへ出力] を選択します。

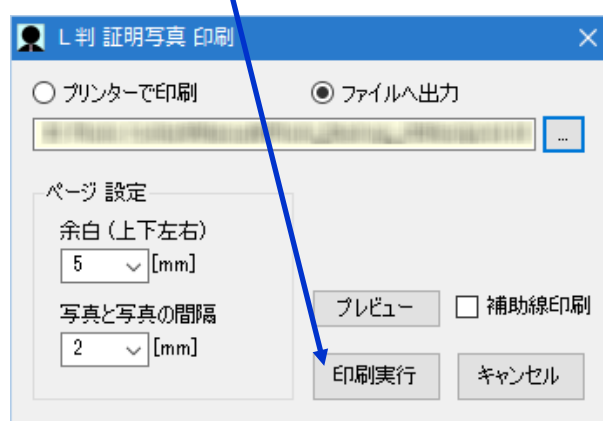


プリンター一覧から証明写真を印刷するプリンターを選択し、余白と写真間隔を設定して、[印刷実行] ボタンをクリックすることで、証明写真を印刷します。

- ※ 余白は、0mm から 10mm の間で、1mm 単位で選択します。
- ※ 写真間隔は、0mm から 10mm の間で、1mm 単位で選択します。
- ※ 余白と写真間隔の意味については、後述の [印刷プレビュー] でご確認ください。

- ※ [補助線印刷] チェックボックスをチェックして印刷すると、補助線が印刷されます。  
証明写真の背景が白くて、境目が分からず、物理的に切り取りにくい場合に、ご活用ください。  
印刷されるイメージは、後述の [印刷プレビュー] でご確認ください。

[...] ボタンをクリックして、出力ファイル名を指定してください。  
出力ファイル名を指定することにより、[印刷実行] ボタンが有効になります。



[印刷実行] ボタンをクリックすることにより、L判の証明写真イメージのファイルが作成できます。

※ ファイル出力できる画像ファイルの種類は、次の 5 種類です。

- (1) ビットマップ ファイル (\*. bmp)
- (2) JPEG ファイル (\*. jpg, \*. jpeg)
- (3) PNG ファイル (\*. png)
- (4) GIF ファイル (\*. gif)
- (5) TIFF ファイル (\*. tif, \*. tiff)

なお、保存形式は、指定された [ファイル名] の拡張子により、自動的に判断されます。  
 ファイル名に拡張子が指定されなかった場合は、出力ファイル名の指定時に設定されている  
 [ファイルの種類] のファイル拡張子が自動的に付与されます。

**ファイル出力したイメージデータを使って、コンビニプリントで証明写真を印刷することができます。**

※ コンビニのマルチコピー機で、「L 判写真印刷」を選択してください。

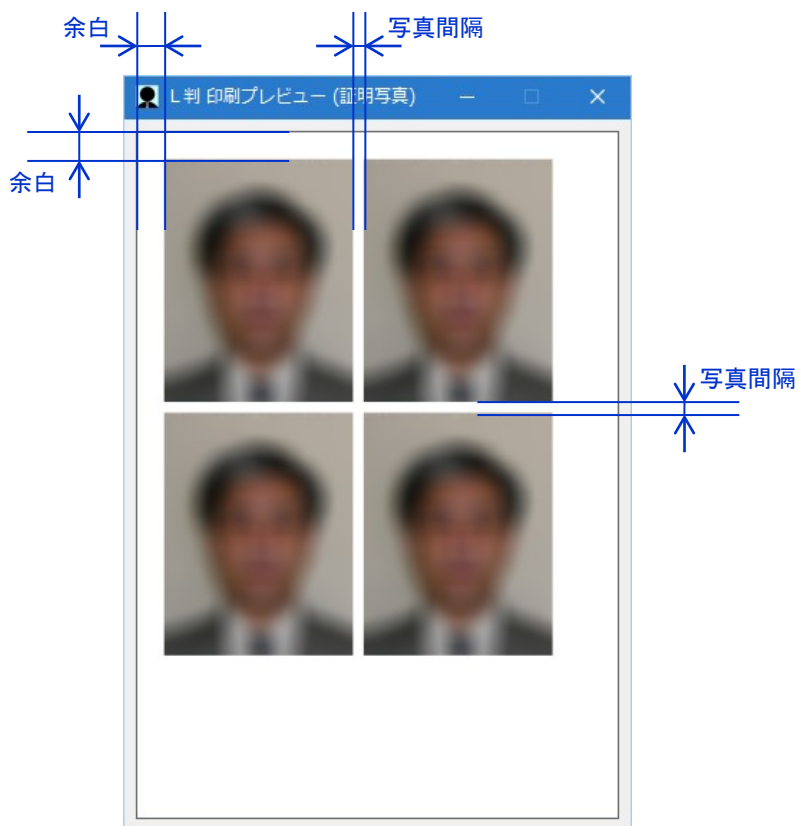
(注) 画像ファイルの種類によっては、コンビニプリントで対応していないものがあります。  
 秋山製作所での調査結果では、JPEG ファイルがお勧めなのですが、念のため他の種類の  
 画像ファイルも出力して持参した方が無難です。

(注) コンビニプリントでは、証明写真が若干大きめに印刷されます。  
 (ふちなし印刷を行うためのマージンだと思われます。)  
 装置によりですが 2% ~ 4%程度、大きく印刷されるようです (秋山製作所 調べ)。  
 (50mm が 51mm ~ 52mm になる程度です。)  
 コンビニプリントで印刷した証明写真を物理的に切り取る際、ご注意ください。

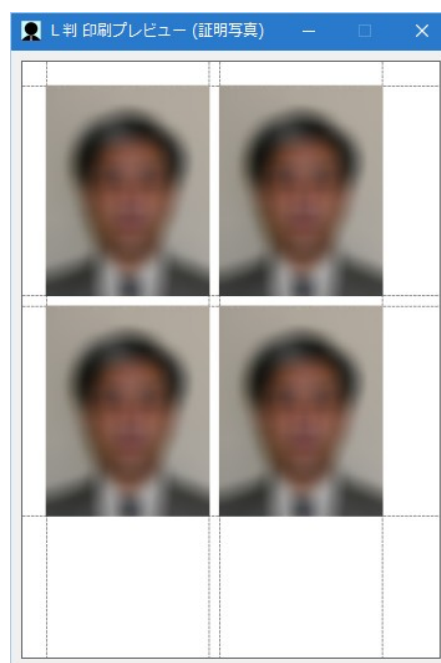
製品版のみ

### ■ 印刷プレビュー

印刷を実行する前に、[印刷プレビュー] ボタンをクリックすることで、印刷されるイメージを確認することができます。



補助線なしのイメージ



補助線ありのイメージ


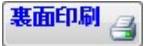
## 裏面に文字を印刷する

L判の写真用紙の裏面に文字を印刷します。 (注) 製品版のみの機能です。

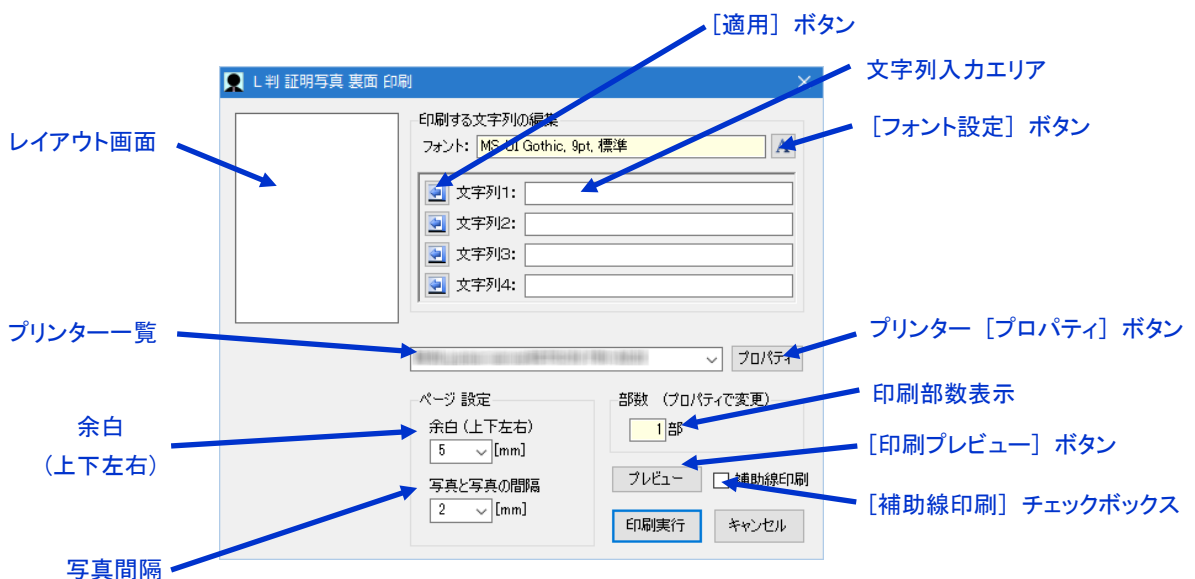
多くの証明写真の場合、裏面に「申請番号／受験番号」「氏名」などを書き込むことが指定されています。「証明写真 切り取る君」には、L判の写真用紙の裏面に、最大4行の文字列を印刷する機能があります。

(注) 証明写真を履歴書や各種申請書に「のり付け」する場合、使用するのりによって、裏面の印刷がにじまないか、消えないか、など、十分ご確認ください。万一、にじんだり、消えたりする可能性がある場合、「印刷した文字の部分にはのりを付けない」や「テープのりを使用する」などのご配慮をお願いします。

次のいずれかの操作により、[L判 証明写真 裏面 印刷] ダイアログを開いてください。

- (1) メニューバーの [ファイル] - [L判の裏面に文字を印刷する] をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする
- (3) 操作パネルの  ボタンをクリックする

(注) PC にプリンターがインストールされていない場合、上記の操作はできません。



まず、文字列のフォントを選択します。

次に、文字列入力エリアの文字列1~文字列4に印刷する文字列を入力し、それぞれの [適用] ボタンをクリックすることで、文字列がレイアウト画面に表示されます。

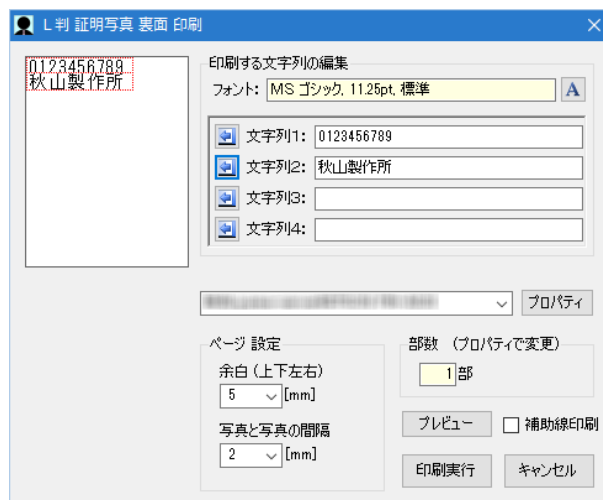
※ 文字列のフォントは、[フォント設定] ボタンをクリックすることで選択します。

(注) フォントは、文字列に共通に使用するフォントです。  
文字列1~文字列4で別々のフォントを設定することはできません。

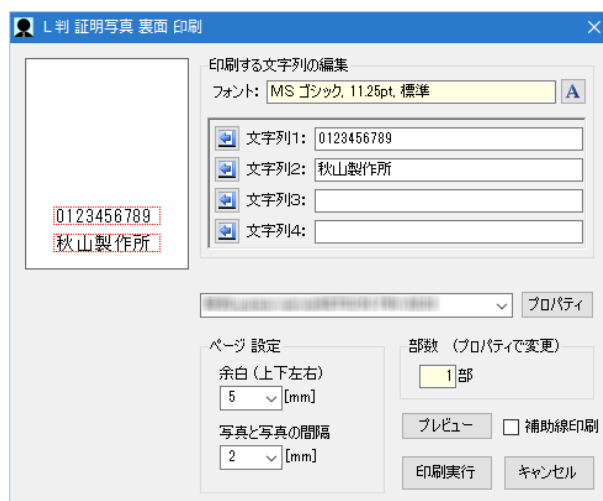
※ レイアウト画面は、証明写真の裏面をイメージしていますので、レイアウト画面の大きさは、証明写真のサイズと同じ大きさになります。



次の図は、文字列 1 に番号を、文字列 2 に名前を入力して、レイアウトに適用させた例です。



次に、レイアウト画面の文字列をドラッグアンドドロップして、レイアウト画面内のお好きな場所へ移動させてください。



※ 文字列 1～文字列 4 が重なった場合の表示優先度は、文字列 4～文字列 1 の順になります。  
文字列 4 > 文字列 3 > 文字列 2 > 文字列 1

※ 文字列は、キーボードの上下左右キーで動かす（これは、主に微調整）こともできます。

※ レイアウト画面から文字列を削除する方法は、次の 3 種類があります。

- (1) 削除する文字列をクリックして、キーボードの [Delete] ボタンを押す
- (2) 削除する文字列を右クリックすることにより表示されるメニューの [削除] をクリックする
- (3) 削除対象の文字列入力エリアの文字列を消して、[適用] ボタンをクリックする

裏面に印刷する文字列のレイアウトが決まったら、プリンター一覧から証明写真の裏面を印刷するプリンターを選択し、余白と写真間隔を設定して、[印刷実行] ボタンをクリックすることで、証明写真の裏面に文字を印刷します。

- ※ 余白は、0mm から 10mm の間で、1mm 単位で選択します。
- ※ 写真間隔は、0mm から 10mm の間で、1mm 単位で選択します。
- ※ 余白と写真間隔の初期値は、証明写真の印刷で設定されている値が設定されます。
- ※ [補助線印刷] チェックボックスをチェックして印刷すると、補助線が印刷されます。  
印刷されるイメージは、次ページの [印刷プレビュー] でご確認ください。
- ※ 余白と写真間隔の意味については、次ページの [印刷プレビュー] でご確認ください。

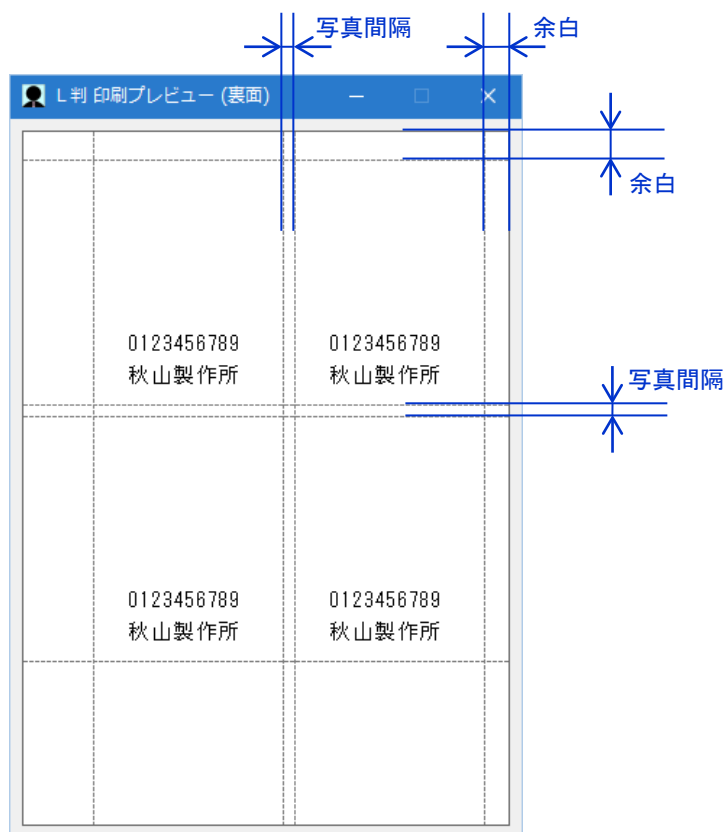
(注) 印刷部数表示は、設定されている印刷部数の表示を行うのみで、ここでは部数の設定は行えません。  
印刷部数は、プリンター [プロパティ] ボタンをクリックして、プリンターのプロパティ画面で設定してください。

(注) プリンターの機種により、ある程度の余白が必要な場合があります。  
[L 判 証明写真 印刷] ダイアログで設定した余白が、プリンターで必須の余白より狭い場合、印刷実行時に通知メッセージが表示されますので、メッセージの内容に従って、余白を再設定してください。

(注) プリンターへ写真用紙をセットする場合は、証明写真の裏面の印刷であることを強く意識して、向きを間違えないように十分注意してください。

## ■ 印刷プレビュー

印刷を実行する前に、[印刷プレビュー] ボタンをクリックすることで、印刷されるイメージを確認することができます。



(注) 写真用紙の裏面への印刷なので、余白は右上からになります。



補助線なしのイメージ



補助線ありのイメージ



## その他の機能

### 切り取り枠の色の設定

写真フレームの切り取り枠の色の初期値は「赤」ですが、オリジナル写真の服装の色が赤っぽい場合、切り取り枠が見づらくなることがあります。

このような場合には、切り取り枠の色を変更してご使用ください。

次のいずれかの操作により、[色の設定] ダイアログを開いて、色を変更してください。

- (1) メニューバーの [操作] - [切り取り枠の色を設定する] をクリックする
- (2) ツールバーの  アイコンをクリックする
- (3) 操作パネルの  ボタンをクリックする

※ 変更した切り取り枠の色は、次の色にも適用されます。

- (a) [オリジナル写真の傾きの調整] ダイアログボックスの調整ガイド線の色
- (b) [L 判 証明写真 裏面 印刷] ダイアログのレイアウト画面内の文字列の枠の色

### ツールチップ

「証明写真 切り取る君」の各項目の上にマウスを置いて 0.5 秒マウスを停止すると、その項目に関する説明が表示されます。それがツールチップです。

操作に慣れるまでは便利な機能ですが、操作に慣れてしまって、表示が鬱陶しい場合には、次の操作によりツールチップを表示しないようにすることができます。

- (1) メニューバーの [表示] - [ツールチップの表示] をクリックする

※ 同じ操作で、ツールチップを再び表示するように設定できます。

### アンドゥー・リドゥー

「アンドゥー」(Undo) は、直前の操作を取り消します。

「リドゥー」(Redo) は、いったん取り消した操作をやり直します。

「証明写真 切り取る君」では、次の場所でアンドゥー・リドゥーが行えます。

- (1) メインフォーム上
- (2) [L 判 証明写真 裏面 印刷] ダイアログのレイアウト画面上

「アンドゥー」は、Ctrl + Z (コントロールキーを押しながら Z キーを押す) で行います。

「リドゥー」は、Ctrl + Y (コントロールキーを押しながら Y キーを押す) で行います。

(注) アンドゥーができる回数には上限があります。回数の上限は次の通りです。

(1) メインフォーム上は、PC に実装されている物理メモリ量により可能な回数が異なります。

- ・ 概ね 1GB (または、それ以下) の場合 25 回まで
- ・ 概ね 2GB の場合、50 回まで
- ・ 概ね 2GB より多い場合 (4GB など)、100 回まで

(2) [L 判 証明写真 裏面 印刷] ダイアログのレイアウト画面上は、100 回までです。

(注) メインフォームの「最小化」操作と「最小化からの復帰」操作は、アンドゥー・リドゥーの対象外です。

アンドゥー・リドゥー機能は、特にメインフォーム上で、多くの PC の物理メモリを使います。PC に実装されている物理メモリの量が少なく、動作が不安定になる可能性がある場合、次の操作によりアンドゥー・リドゥーの機能を止めることができます。

(1) メニューバーの [表示] - [アンドゥー・リドゥー機能の使用] をクリックする

※ 同じ操作で、再びアンドゥー・リドゥーの機能が使えるように設定できます。

アンドゥー・リドゥーの機能が使えるようになった時、ご使用の PC でのアンドゥー可能回数が表示されます。

## 状態の保存

「証明写真 切り取る君」終了時に、各種設定状態を保存します。

そして、次に「証明写真 切り取る君」を起動した時には、前回使用していた設定に近い状態で「証明写真 切り取る君」が立ち上がります。

## 第4章 保存しておいた証明写真を活用する

この章では、「証明写真 切り取る君」で作成した証明写真のファイルの活用方法について記述しています。

- ・ファイルに保存した証明写真で、後日同じ証明写真を作る
- ・「証明写真 切り取る君」を使わない証明写真の印刷

本文中、※は使い方のポイントを、(注) は注意点を示しています。

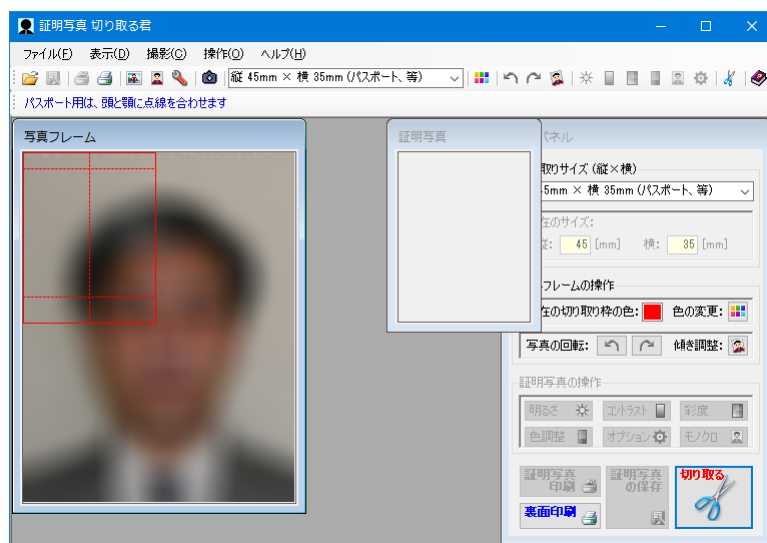
## ファイルに保存した証明写真で、後日同じ証明写真を作る

「証明写真 切り取る君」で作成した証明写真をファイルに保存しておいて、後日同じサイズの証明写真が必要になった場合、「証明写真 切り取る君」には、「証明写真を開く」という機能がありません。

この場合、ファイルに保存しておいた証明写真をオリジナル写真として、写真フレームで開いてください。

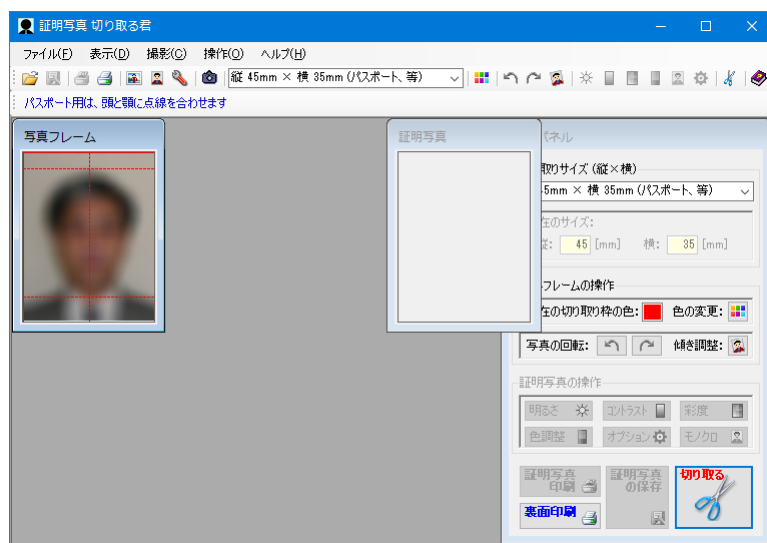
以下、パスポート写真を例に説明します。

ファイルに保存しておいたパスポート写真を「証明写真 切り取る君」のオリジナル写真として開くと、次のような画面になります。



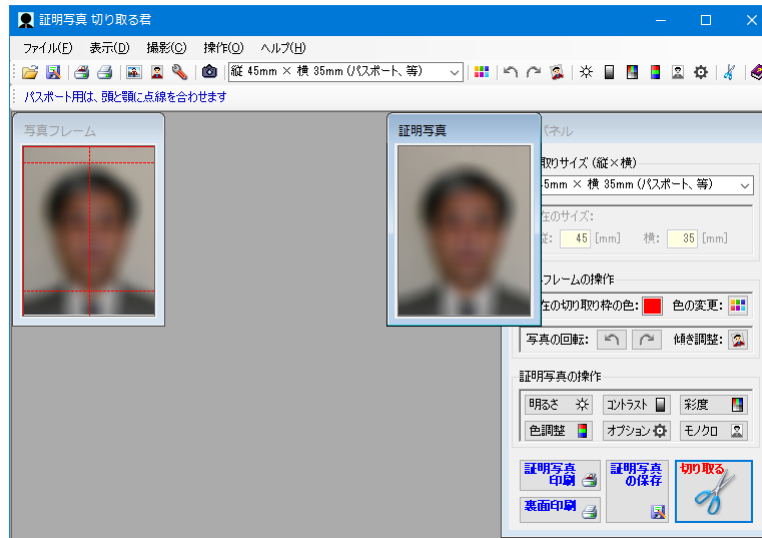
(注) 切り取りサイズがパスポートサイズになっていない場合は、ここで切り取りサイズとして [縦 45mm × 横 35mm (パスポート、等)] を選択してください。

次に、写真フレームの大きさを可能な限り小さくします。



※ 写真フレームの大きさを小さくするには、写真フレームの画面の右下をドラッグして、そのままマウスを左上に移動し、ドロップします。写真フレームは、切り取り枠より小さくなることはありません。

この状態で、証明写真を切り取ることで、ファイルと同じ大きさの画像が証明写真に表示されます。



※ この操作により、証明写真の解像度が下がることはありません。

この証明写真を印刷してください。

※ 3章の「証明写真を印刷する」を参照してください。



## 「証明写真 切り取る君」を使わない証明写真の印刷

ここでは、「証明写真 切り取る君」で印刷できないサイズの証明写真を印刷する場合や、いろいろなサイズの証明写真を作成して一枚の用紙に出力する場合など、「証明写真 切り取る君」を使わないで証明写真を印刷する方法の一例を記述します。

この例では、Microsoft Wordを使用します。Microsoft Wordを使用することにより、「証明写真 切り取る君」で作成してファイルに保存しておいた証明写真ファイルを、様々なアレンジで印刷することができます。

次の手順で編集し、印刷してください。

**手順 1:** Microsoft Wordを開きます。(適宜、ページ設定などを行ってください。)

**手順 2:** Microsoft Word の新規の文書に、エクスプローラーを使って証明写真のファイルをドラッグアンドドロップして貼り付けます。

※ 「証明写真 切り取る君」で証明写真を作成した状態で、ファイルに保存しなくても、「証明写真 切り取る君」の証明写真を直接コピーして、Microsoft Wordに貼り付けることもできます。証明写真の画面をアクティブにして（証明写真の画面をクリックして）Ctrl + C（コントロールキーを押しながらCキーを押す）操作を行うか、マウスで右クリックすることで表示される [コピー] メニューをクリックすることにより、証明写真がクリップボードにコピーされます。この状態で、Microsoft Word の貼り付け機能が使えます。(Microsoft Wordをアクティブにして、Ctrl + V（コントロールキーを押しながらVキーを押す）操作を行うか、Microsoft Wordのメニューやアイコンから貼り付け機能を選択してください。

**手順 3:** 手順 2 で貼り付けただけでは、巨大な画像になってしまいますので、Microsoft Word 上から画像を選択して、写真のレイアウトとサイズを設定します。

※ Microsoft Word 97～2003 の場合:

画像を右クリックして表示されるメニューの [図の書式設定] をクリックし、表示されるダイアログの [レイアウト] タブで [折り返しの種類と配置] に [行内] 以外 (例えば [背面] または [前面]) を設定して、[水平方向の位置] に [その他] を設定します。そして、同じダイアログの [サイズ] タブで、[倍率] の項目の中の [縦横比を固定する] にチェックを入れてから、必要な高さ (縦) または 幅 (横) のどちらかを mm 単位で設定します。(例えば、パスポート用の写真なら、高さを 45mm に設定します。) 設定ができれば、ダイアログボックスの [OK] をクリックします。

※ Microsoft Word 2007 以降の場合:

画像を右クリックして表示されるメニューの [レイアウトの詳細設定] をクリックし、表示されるダイアログの [レイアウト] タブで [折り返しの種類と配置] に [行内] 以外 (例えば [背面] または [前面]) を設定します。そして、同じダイアログの [サイズ] タブで、[倍率] の項目の中の [縦横比を固定する] にチェックを入れてから、必要な高さ (縦) または 幅 (横) を mm 単位で設定します。(例えば、パスポート用の写真なら、高さを 45mm に設定します。) 設定ができれば、ダイアログボックスの [OK] をクリックします。

**手順 4:** 手順 3 で貼り付けた証明写真が文書内で自由に動かせる状態になりますので、証明写真を適当にレイアウトします。(貼り付けた証明写真のコピーアンドペーストも自由自在です)

**手順 5:** 手順 2～手順 4 を繰り返して、必要な証明写真を全て貼り付けてレイアウトした後で、Microsoft Word の機能を使って印刷します。

## 第5章 試用版で証明写真を作成するポイント

この章では、「証明写真 切り取る君」の試用版を使って、「写真用紙に印刷された証明写真」を作成するためのポイントについて記述しています。

### ・試用版で証明写真を作成するポイント

本文中、※は使い方のポイントを、(注) は注意点を示しています・

## 試用版で証明写真を作成するポイント

「証明写真 切り取る君」の試用版では、次の機能が制限されています。

- (1) L判で証明写真を印刷
- (2) L判で証明写真の裏面に文字を印刷
- (3) Webカメラで作成した画像のファイルへの保存
- (4) オリジナル写真の調整
- (5) 証明写真の調整

しかし、(3) は証明写真を作成するために必須の機能ではありません。  
つまり、試用版でも、「写真の調整」と「印刷」以外は全てできる ということです。

### 「写真の調整」について:

オリジナル写真が綺麗に真っ直ぐに撮影できていれば、「写真調整」は必要ありません。

Webカメラが内蔵されているPCの場合、試用版でもWebカメラでの撮影は可能ですので、十分に明るい場所を撮影場所に選定し、Webカメラの位置および固定方法を工夫したり、何度も撮影したりすれば、オリジナル写真が綺麗に真っ直ぐ撮影できます。

もちろん、デジタルカメラでオリジナル写真を撮影する場合も、同様です。

また、オリジナル写真に何らかの調整が必要な場合でも、フリーウェアでも大変優秀なフォトタッチソフトがありますので、そのようなソフトウェアを活用すれば、いかようにも調整が可能です。

### 「印刷」について:

作成した証明写真をファイルに保存した上で、第4章の「「証明写真 切り取る君」を使わない証明写真の印刷」の手順を使って印刷できます。

このマニュアルでの例では、Microsoft Word を使用していますが、同様のことができる他のワードプロセッサソフト、表計算ソフト、およびプレゼンテーション作成ソフトなど、印刷に使える様々な有償または無償のソフトウェアがあり、有効活用することができます。

このように、「証明写真 切り取る君」は、試用版でも十分ご活用いただけるものと思っております。

デジタルカメラの画像から証明写真を作るのは、フォトタッチソフトだけでは、ピクセルをミリに換算したり、頭の位置や顎の位置や目の位置を考慮しながら切り取ったり、と、何かと面倒なものです。  
是非、「証明写真 切り取る君」をご活用ください。

**証明写真 切り取る君 Mr. ID Photo Cutter (Model: AKM-IPC-100) ユーザーズマニュアル**

2015年7月	1.0.0.0版 発行	2019年7月	1.3.0.0版 発行
2015年8月	1.0.0.0a版 発行	2019年11月	1.4.0.0版 発行
2015年9月	1.1.0.0版 発行	2019年11月	1.5.0.0版 発行
2016年8月	1.2.0.0版 発行	2022年11月	1.6.0.0版 発行

Copyright (C) 2015-2021 秋山製作所  
発行所 秋山製作所

**ご注意**

- ・このマニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・このマニュアルの内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。